

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名

：かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事

2. 工事場所

：鹿児島市犬迫町 8 2 5 番地

3. 工期

：本工事の工期は令和9年6月25日までとする。

4. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一
プール体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	2階、地下1階	5,000.40	(15)項

※ 建築基準法による表記 ・ 文部科学省算定床面積 ・ その他 ()

棟別工事項目 (〇印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外工事項目	プール体育館棟	ウォーターライダー	屋外
・ 空調調(冷暖房)設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 換気設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 衛生器具設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
給水設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 排水設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 自動制御設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 消火設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ ガス設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
給湯設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
・ 浄化槽設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
ろ過設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式
電気設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式

6. 鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用 (〇印を付けたものを適用する)

無 (範囲、時期については監督員の指示による)

7. 鹿児島市建設工事請負契約書第38条に基づく指定部分 (〇印を付けたものを適用する)

無 (範囲、時期については監督員の指示による)

II. 一般事項

(番号に○印の付いたものと及び 〇印の付いたものを適用する)

1 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかに行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事公衆災害防止対策要綱及びその他関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。

2 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。

3 本工事の関連工事に従事する別契約の受注者とは、関連の工程・取手等を取事前に十分協議し、相互理解の上で施工すること。

4 安全管理をはじめとする、その他の諸管理に十分留意して作業を行うこと。

5 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の観点に立ててできる限り、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。

6 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用手数・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。

7 建設工事の一部を下請けに付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく (遅くとも下請工事の着手前までに) 提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

8 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請けに付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事関係の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく (遅くとも下請工事の着手前までに) 提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、遅くとも下請工事の着手前までに、作成し提出すること。

(1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

(2) 土砂やコンクリート等々の運搬のみを行う業務

(3) 工事現場管理 (交通誘導を含む) を行う業務

(4) その他監督員が記載を指示した業務等

9 本工事の施工業者は、建設業退職金共済制度の趣旨をふまえ、この制度の活用に努めること。

10 建設業法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。

11. 職業能力開発促進法の趣旨をふまえ、延べ面積3,000㎡を超える工事には、技能士を常駐させるものとする。

・ 配管施工 (配管工事) ・ 建築板金施工 (ダクト製作及び取付け)

・ 熱絶縁施工 (保温工事) ・ 冷凍空調調和機器施工 (冷凍空調機器の据付)

12 設計図書に明記なき事項といえども、機能上、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。受注者は、工事請負代金額が500万円以上の工事については、工事実施細則システム(GORINS)に基づき、受注・変更・訂正時に工事実績情報とともに「登録簿のみの確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内(土、日祝日等を除く)に、登録内容の変更時に訂正変更があった日から10日以内(土、日祝日等を除く)に、完成時は工事完成後10日以内(土、日祝日等を除く)に(一)附日本建設情報総合センターに登録しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。

13 気象予報又は情報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なか、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被災の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。

14 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。

【低入札価格調査に基づく措置】

低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるとする。

15 施工体制の強化

(1) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。

(2) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置する。

ア 65点未満の工事成績評定を通知された場合

イ 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合

ウ 品質管理・安全管理に関する、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合

エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合

17 監督体制の強化

(1) 受注者は、施工体制台帳を提出しその内容についてのヒアリングを求められた時は、これに応じなければならない。

(2) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められた時にはこれに応じなければならない。

【工事施工】

18 工事現場での通行、運搬、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行入への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分な安全対策を行い、事故の皆無を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やモルタル等の残材等で埋没させないよう特に注意すること。なお、埋没させた場合は、速やかに受注者の負担で復旧すること。

19 本工事の施工現場の諸所等においては、火気責任者を定め、火気の取り扱いには十分注意すること。

(下請業者への指導を含む)

20 本工事の施工に当たっては、支障物を見出し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の上、監督員の指示により処置すること。なお、軽微なものについては、これに要する費用は受注者の負担とする。

【屋内に使用する材料等】

21. ホルムアルデヒドを発生する資材を使用する場合、室内内はF☆☆☆☆規格、部屋へホルムアルデヒドが流入する恐れのある床下及び天井裏は、F☆☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。

※ 対象となる材料

木質建築 (合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保温材、接着剤、仕上り塗料等

注. ドアガラリ等により通連され、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とみなす。

22. クロロビリホスを添加しないこと。クロロビリホスを添加した材料でないこと。

23. 塗料は、ホルマリン不抽出のもので、水性系のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。

【監理技術者等の途中交代】

① 「監理技術者制度運用マニュアル」に明記された監理技術者等の途中交代に関する条件に該当し、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合は途中交代が可能となる。

② 「監理技術者等の途中交代の試行について」

③ 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。

(1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは品質管理、出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。

(2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入れ契約手続きにおける競争参加資格を満たす者とする。

【施工体制点検等への協力】

④ 請負代金額が4,500万円 (建築一式工事は9,000万円) 以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づき点検を、また請負代金額が4,500万円 (建築一式工事は9,000万円) 未満の建設工事の下請け契約を締結した工事においては同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので受注者はこれに協力すること。

【ダンプトラック等による過積載等の防止について】

⑤ 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。

⑥ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

⑦ 資材等の過積載防止のため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害さないようにすること。

⑧ さし栓の差着又は物品積載装置の不正改造等によるダンパーカーが、工事現場に入り出すことがないようにすること。

⑨ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

⑩ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質な重大な事故を発生させたものを排除すること。

⑪ 51項から56項のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

【電子納品について】

⑫ 本工事は電子納品対象工事とし、市HPに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン【建築・設備編】及び鹿児島市電子納品ガイドライン運用の手引き【建築・設備編】に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。

【空架線の防護措置について】

⑬ 空架線の防護措置における防護管設置については、受注者が空架線管理業者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。

【公共工事における現場一斉閉鎖の実施について】

⑭ 受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの (任意) とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、黒ホムページに本取組みの内容を掲載しているので確認のこと。

【道路占用許可申請及び道路使用許可申請について】

60. 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。なお、道路占有料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。【情報共有システムを活用した工事の試行】

⑮ 情報共有システム

(1) 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。

(2) 試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事試行要領 (令和 8 年 4 月 1 日) に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。

【建設キャリアアップシステム活用工事の試行】

⑯ 本工事は、建設キャリアアップシステム活用工事の対象である。試行に当たっては、鹿児島市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領 (令和 8 年 4 月 1 日) に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。

【建設副産物・産業廃棄物等】

① 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「鹿児島市建設局における再生資源活用工事実施要領 (鹿児島市)」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。また、産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合には、契約書の写しを監督員に提出すること。

② 本工事の施工により産業廃棄物が発生する場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト)はE票の写し及び給排水を工事完成図面に添付すること。なお、工事完了時点で、最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されない場合は、A票、B 2 票及びD票のうち直ちに返送されたもの等の写しを添付すること。

ただしこの場合においても最終処分が完了し、E票が処分業者より返送された次第直ちに同票の写しを提出すること。

電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。

③ 建設副産物のうち、コンクリート屑及びアスファルト屑は再生資源化するものとし、これ以外のものについての指定区分は投棄処分とする。

④ 再生資源施設は、最寄りの許可を受けた施設とする。

⑤ 再生資材として有効利用出来ない建設廃材は、最寄りの許可を受けた最終処分場へ搬出する。

6. (1) 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

ア 受け入れ場所:

イ 受け入れ時間帯:

ウ 仮置き等:

(2) 再生資源利用促進計画書を提出すること。

(3) 処分状況の記録を完成書類に含めて提出すること。

(4) 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、監督員と協議の上、その指示によること。

⑦ 建設副産物情報交換システム (マブリス・プラス) または国土交通省ホームページ掲載の様式により再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示 (デジタルサイネージによる掲示も可) して公衆の周知に供することとし、あわせてインターネットに公表するものとする。また、その実施状況を記録した実施書を作成書類に含めて提出するものとする。

⑧ 建設副産物の処理に起因する災害及び苦情については、受注者の負担において処理すること。

⑨ 本工事により発生する建設副産物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

⑩ 産業廃棄物の収集又は運搬する際、産業廃棄物収集運搬業者に委託せず自己運搬する場合、運搬車の車体の両側面に

(1) 5cm以上の文字で「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び

3cm以上の文字で「排出事業者名」を表示

(2) 「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」の備え付けを行うこと。なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく別途、表示規定によること。

⑪ 焼却施設作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については、変更契約できるものとする。

「適正に処理」においては、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者 (請負業者) が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報 (成分性状等) を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票 (マニフェスト) について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならないほか、処分状況等の記録 (E票の写し及びマニフェスト総括表) を提出すること。

III. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和 7 年版、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和 7 年版、及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 令和 7 年版による。

(2) 電気設備及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備及び建築工事は、それぞれの工事標準仕様書を適用する。

(3) 施工基準

鹿児島市給排水・下水道条例及び施行細則、鹿児島市水道局給水装置・排水設備工事施行基準、市福祉環境整備指針、鹿児島市機械設備工事各種要領、その他、関連法規及びガス供給会社の供給規定に基づき施工する。

2. 特記仕様

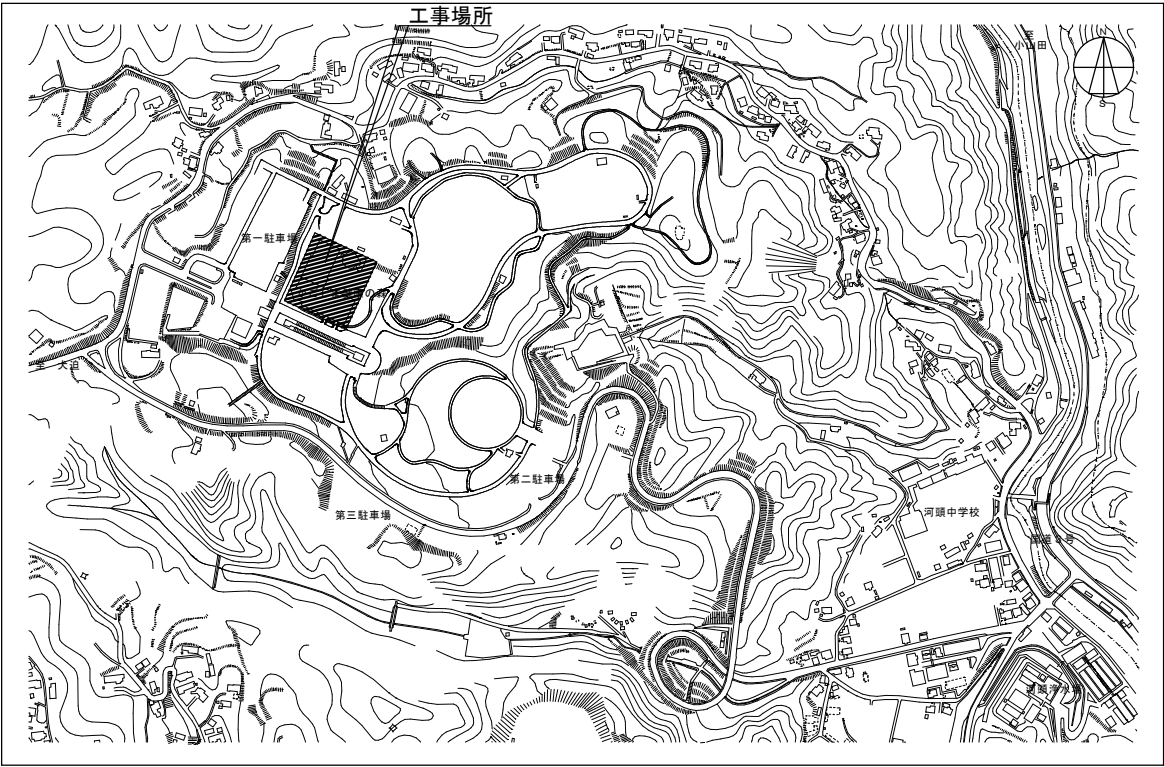
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、〇印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

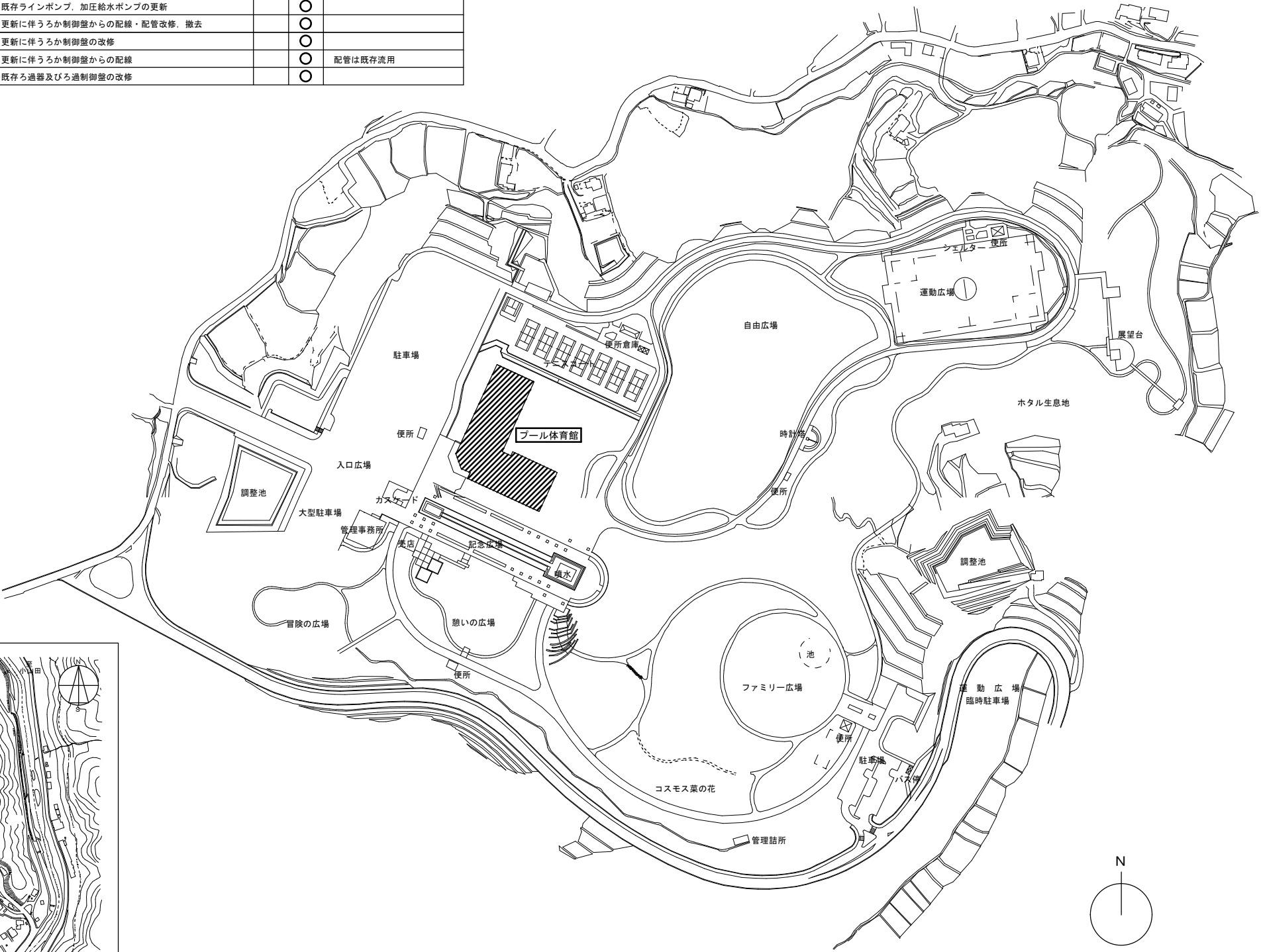
石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ. 石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ. 石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する																																																																																																																																									
Ⅰ. 共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		1. 関係機関 協議・届出 法令等に基づき、撤去工事に必要な関係機関との協議及び届出を速やかに行うこと。 (労働基準監督署、鹿児島市環境保全課等)		1. 撤去作業																																																																																																																																									
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ・ 有 ○ 無 ・ その他 () 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等 ・ 石綿含有成形板等 ・ 石綿含有仕上塗材	2. 撤去作業		・ 石綿含有仕上塗材の撤去 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防護マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き(ダイヤモンドカッターによる) ①コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防護マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ①回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。																																																																																																																																									
	<table><tr><th>石綿含有建材</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	石綿含有建材	使用箇所																																																																																																																																										
石綿含有建材	使用箇所																																																																																																																																												
② 関係法令の遵守		大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説		<table><tr><td colspan="2">外壁面等コア抜き要領</td></tr><tr><td>コア抜き</td><td>石綿含有仕上塗材を集塵機能付き電動工具により撤去する。</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">穿孔機セット用アンカー</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td></tr></table>	外壁面等コア抜き要領		コア抜き	石綿含有仕上塗材を集塵機能付き電動工具により撤去する。			穿孔機セット用アンカー																																																																																																																																		
外壁面等コア抜き要領																																																																																																																																													
コア抜き	石綿含有仕上塗材を集塵機能付き電動工具により撤去する。																																																																																																																																												
穿孔機セット用アンカー																																																																																																																																													

注意事項
施工にあたっては、施設の運営に支障をきたさぬ様にスケジュールを作成し、監督員及び施設管理者の承諾を得ること。
特に下記事項には、留意すること。
１）工事現場において、施設の利用者及び職員への安全対策は、受注者が十分な誠意を持って行い、事故防止に万全を期すこと。
２）建物を休館の工事ではあるが、綿密な工程を作成し、監督員の承諾を得ること。なお、工事に際しては事前に施設職員に周知を図り、切替作業等も公園運営に支障がないよう努めること。
３）作業時間、駐車場の確保等についても十分に打ち合わせること。
４）万一、既設物に損傷を与えた場合は、受注者の負担において復旧するとともに、速やかに監督員に報告を行うこと。
また切替等により発生した故障についても同様とする。
５）工事着工前に現地調査を十分行い、工程表を作成し監督員と協議の上承諾を得た後に工事に着手すること。
６）工事施工に先立ち、支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し職員に移動してもらった後に養生し作業に着手すること。
７）工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に施設管理者に連絡し承諾を得たのちに作業すること。
８）発生材の処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』及び『再生資源の利用促進に関する法律』・『建設リサイクル法』等の関係法規に基づき適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
９）ドライエリア、屋外、足場上などでの作業時は、墜落用制止器具を着用し、安全対策を実施すること。
１０）機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。
また、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
１１）本工事は、屋内プール休館期間中に実施するものであるが、体育館は通常運用であることから、職員及び利用者の安全等に配慮し施工すること。
また、事前に施設管理者と十分に協議のうえ施工計画を作成し、あわせて、休館期間（令和８年９月～令和９年６月末）内に施工及び試運転を確実に完了させること。
１２）別途工事の担当者と相互に連絡を取り合い、調整を行うこと。
１３）機器の搬出入に際してクレーンを使用する場合は、床面の保護を含む必要な養生を確実に行うこと。

特記事項		・本工事に於ける他工事との工事区分は下記による。		
工 種	区 分	電気設備	機械設備	備 考
既存機器の配管配線撤去		○		
動力盤（P-B1-1）、ソーラー制御盤の内部改修		○		
新設機器の配管配線新設		○		
既存ラインポンプ、加圧給水ポンプの更新			○	
更新に伴うろか制御盤からの配線・配管改修、撤去			○	
更新に伴うろか制御盤の改修			○	
更新に伴うろか制御盤からの配線			○	配管は既存流用
既存ろ過器及びろ過制御盤の改修			○	



付近見取図 No Scale

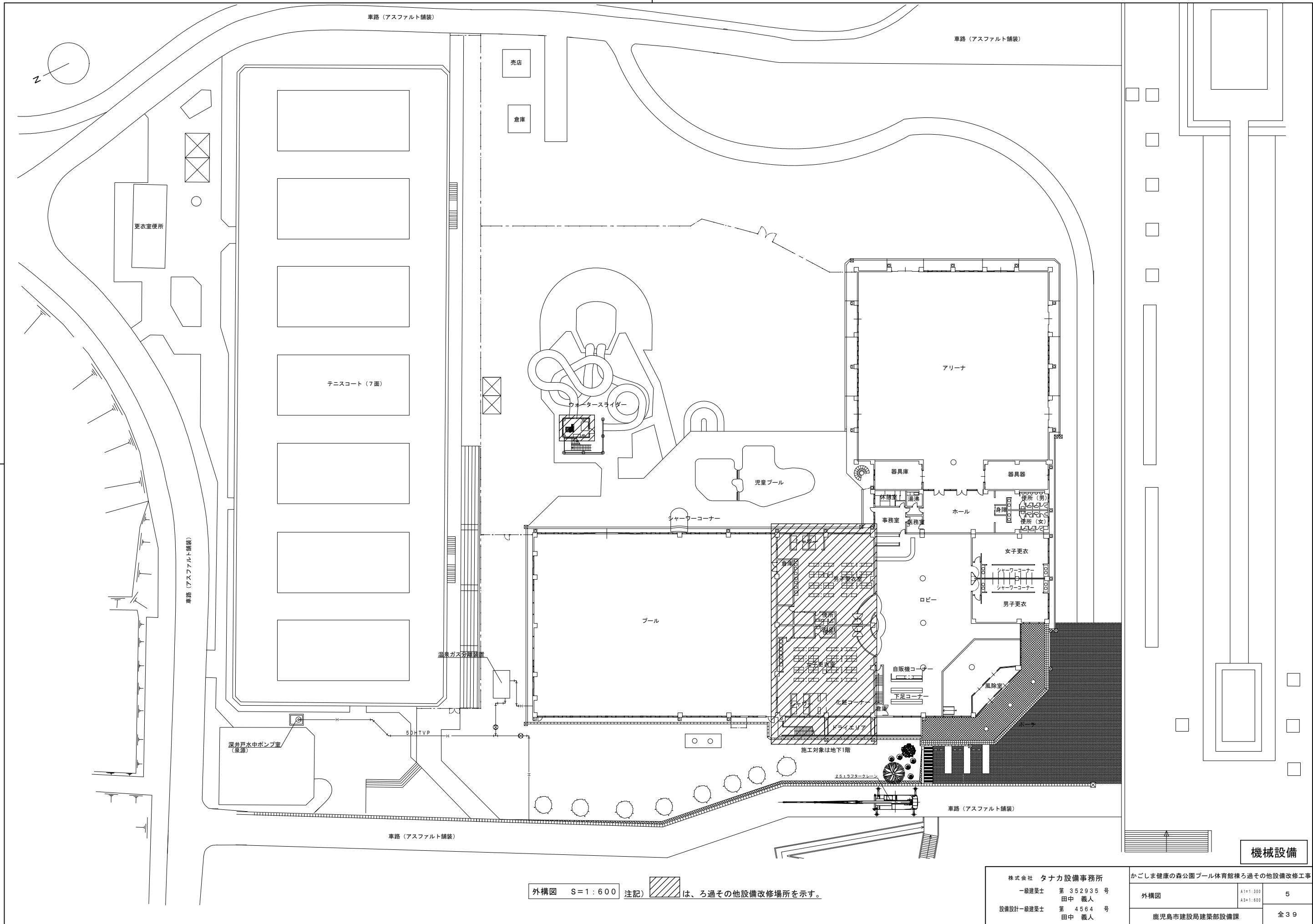


配置図 S=1：4000

注記) は、工事対象箇所を示す。

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所				かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	田中 義人		外構図	A1=1:2000 A3=1:40004
設備設計一級建築士	第 4564 号	田中 義人		鹿児島市建設局建築部設備課	全 3 9



外構図 S=1:600 注記)  は、ろ過その他設備改修場所を示す。

株式会社 タナカ設備事務所
一級建築士 第 352935 号
田中 義人
設備設計一級建築士 第 4564 号
田中 義人

かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事		
外構図	A1=1:300	5
	A3=1:600	
鹿児島市建設局建築部設備課		全 39

機械設備

機器明細表（１）（改修後）

記号	品 名	仕 様 及 び 付 属 品		電 気 特 性			数量	備 考
				φ	V	kW		
F U－１	ろ過装置 （温水プール用）	形 式：電動五方弁操作による自動洗浄方式		－	－	－	1基	地下1階機械室
		循環水量：130m ³ /h						コンクリート基礎は既存使用
		ろ過材：砂式（セラミック系ろ過剤）						
		ろ過塔寸法：φ2400（内径）×1220H（直胴）						
		ろ過塔材質：SS400製内面FRPライニング（厚さ1.8mm以上）						
		ろ過配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）						
		付属品：瞬間流量計、圧カスイッチ、流量調整弁他付属品 電動三方弁、温度センサー他付属品						
F P－１ 【既存使用】	ろ過機逆洗ポンプ （温水プール用）	形 式：片吸込渦巻型		3	200	15.0	1台	地下1階機械室
		能 力：125A×2.2φφL/min×22m						
		付属品：						
H C－１ 【既存使用】	集毛器 （温水プール用）	口 径：150A		－	－	－	1台	地下1階機械室
		材 質：SUS304製						
H X－１	熱交換器 （温水プール用）	形 式：プレート式（SUS316）		－	－	－	1基	地下1階機械室
		交換熱量：104.7kw						コンクリート基礎は既存使用
		1次側高温水：150L/min（70℃→60℃）						
		2次側温 水：200L/min（38℃→45℃）						
		付属品：圧力計、逃し弁、ドレンパン、銘板						
O Z－１	オゾン反応処理装置 （温水プール用）	形 式：無声放電式		3	200	15.0	1基	地下1階機械室
		オゾン発生量：35g－O3/h						コンクリート基礎は既存使用
		オゾン濃度：75g/Nm3						
		付属品：鉄骨架台、電動温調三方弁、側温抵抗体						
M O－１	水質監視装置 （温水プール用）	制御方式：自動残留塩素制御（上・下限）		1	100		1基	地下1階機械室
		測定項目：遊離残留塩素、PH、導電率、水温						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：残留塩素計、制御盤、ポンプ、タンク他付属品一式						
F U－３	ろ過装置 （温泉プール（１）用）	形 式：電動五方弁操作による自動洗浄方式		－	－	－	1基	地下1階機械室
		循環水量：15m ³ /h						コンクリート基礎は既存使用
		ろ過材：砂式（セラミック系ろ過剤）						
		ろ過塔寸法：φ900（内径）×1220H（直胴）						
		ろ過塔材質：SS400製内面FRPライニング（厚さ1.8mm以上）						
		ろ過配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）						
		付属品：瞬間流量計、圧カスイッチ、流量調整弁他付属品 電動三方弁、温度センサー他付属品						
F P－３ 【既存使用】	ろ過機逆洗ポンプ （温泉プール（１）用）	形 式：片吸込渦巻型		3	200	3.7	1台	地下1階機械室
		能 力：50A×25φφL/min×26.5m						
		付属品：防振架台						
H C－３ 【既存使用】	集毛器 （温泉プール（１）用）	口 径：50A		－	－	－	1台	地下1階機械室
		材 質：SUS304製						
H X－２	熱交換器 （温泉プール（２）用）	形 式：プレート式（SUS316）		－	－	－	1基	地下1階機械室
		交換熱量：104.7kw						コンクリート基礎は既存使用
		1次側高温水：150L/min（70℃→60℃）						
		2次側温 水：200L/min（38℃→45℃）						
		付属品：圧力計、逃し弁、ドレンパン、銘板						
F U－２	ろ過装置 （温泉プール（２）用）	形 式：電動五方弁操作による自動洗浄方式		－	－	－	1基	地下1階機械室
		循環水量：18m ³ /h						コンクリート基礎は既存使用
		ろ過材：砂式（セラミック系ろ過剤）						
		ろ過塔寸法：φ900（内径）×1220H（直胴）						
		ろ過塔材質：SS400製内面FRPライニング（厚さ1.8mm以上）						
		ろ過配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）						
		付属品：瞬間流量計、圧カスイッチ、流量調整弁他付属品 電動三方弁、温度センサー他付属品						
F P－２	ろ過機逆洗ポンプ （温泉プール（２）用）	形 式：片吸込渦巻型		3	200	3.7	1台	地下1階機械室
		能 力：50A×300L/min×24m						
		付属品：防振架台						

記号	品 名	仕 様 及 び 付 属 品		電 気 特 性			数量	備 考
				φ	V	kW		
H C－２	集毛器 （温泉プール（２）用）	口 径：50A		－	－	－	1台	地下1階機械室
		材 質：SUS304製						
H X－３	熱交換器 （温泉プール（１）用）	形 式：プレート式（SUS316）		－	－	－	1基	地下1階機械室
		交換熱量：87.2kw						コンクリート基礎は既存使用
		1次側高温水：125L/min（70℃→60℃）						
		2次側温 水：180L/min（38℃→45℃）						
		付属品：圧力計、逃し弁、ドレンパン、銘板						
F U－４	ろ過装置 （児童プール用）	形 式：電動五方弁操作による自動洗浄方式		－	－	－	1基	地下1階機械室
		循環水量：24m ³ /h						コンクリート基礎は既存使用
		ろ過材：砂式（セラミック系ろ過剤）						
		ろ過塔寸法：φ1100（内径）×1220H（直胴）						
		ろ過塔材質：SS400製内面FRPライニング（厚さ1.8mm以上）						
		ろ過配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）						
		付属品：瞬間流量計、圧カスイッチ、流量調整弁他付属品 電動三方弁、他付属品						
F P－４	ろ過機逆洗ポンプ （児童プール用）	形 式：片吸込渦巻型		3	200	3.7	1台	地下1階機械室
		能 力：65A×400L/min×22m						
		付属品：防振架台						
H C－４	集毛器 （児童プール用）	口 径：65A		－	－	－	1台	地下1階機械室
		材 質：SUS304製						
B P－１	気浴浴用ブローワー	形 式：ルーツ式		3	200	2.2	1台	地下1階機械室
		能 力：50A×0.2kg/cm2×3.0m3/min						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：防振架台						
B P－２	ジャグジー用ブローワー	形 式：ルーツ式		3	200	2.2	1台	地下1階機械室
		能 力：50A×0.4kg/cm2×1.0m3/min						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：防振架台						
H X－４	熱交換器 （ジャグジー用）	形 式：プレート式（SUS316）		－	－	－	1基	地下1階機械室
		交換熱量：46.5kw						コンクリート基礎は既存使用
		1次側高温水：130L/min（70℃→65℃）						
		2次側温 水：130L/min（40℃→45℃）						
		付属品：圧力計、逃し弁、ドレンパン、銘板						
H X－５	熱交換器 （蓄熱槽－温水プール用）	形 式：プレート式（SUS316）		－	－	－	1基	地下1階機械室
		交換熱量：104.7kw						コンクリート基礎は既存使用
		1次側高温水：200L/min（45℃→38℃）						
		2次側温 水：200L/min（℃→℃）						
		付属品：圧力計、逃し弁、ドレンパン、銘板						
T－１	塩素タンク	形 式：円筒形		－	－	－	1基	地下1階機械室
		材 質：ポリエチレン製						コンクリート基礎・架台は既存使用
		容 量：3000L						
		付属品：外梯子、点検口他付属品一式						
E P－１ 【一部更新】	ろ過機制御盤 （プール用）	形 式：屋内自立型					4面	地下1階機械室
		材 質：鋼板製						
F U－５	ろ過装置（屋外設置仕様） （ウオータースライダー用）	形 式：電動五方弁操作による自動洗浄方式		－	－	－	1基	ウオータースライダー機械置場
		循環水量：10m ³ /h						コンクリート基礎は既存使用
		ろ過材：砂式（セラミック系ろ過剤）						
		ろ過塔寸法：φ550（内径）×1225H（直胴）						
		ろ過塔材質：SS400製内面FRPライニング（厚さ1.8mm以上）						
		ろ過配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）						
		ろ過逆洗ポンプ：40A×170L/min×23.5m						
		集網器：SUS304製						
		付属品：瞬間流量計、圧カスイッチ、流量調整弁他付属品 電動三方弁他付属品						

※電気容量は参考値とする。

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事		
一級建築士	第 352935 号 田中 義人	機器明細表（１）（改修後）	A1＝－ A3＝－	6
設備設計一級建築士	第 4564 号 田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課		全 39

機器明細表（２）（改修後）

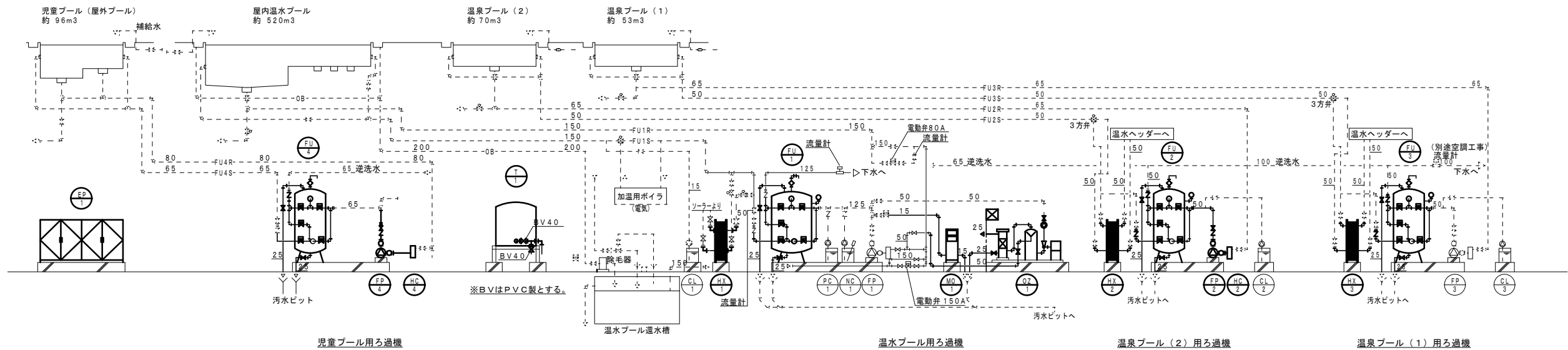
記号	品 名	仕 様 及 び 付 属 品		電 気 特 性			数量	備 考
				φ	V	kW		
WS－A	揚水ポンプ（屋外仕様） （ウォータースライダー用）	形 式：片吸込渦巻型（電動機：全閉外扇形）		3	200	11.0	1台	ウォータースライダー機械置場
		能 力：150A×1.600L/min×17.1m						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
WS－B	揚水ポンプ（屋外仕様） （ウォータースライダー用）	形 式：片吸込渦巻型（電動機：全閉外扇形）		3	200	11.0	1台	ウォータースライダー機械置場
		能 力：150A×1.600L/min×17.1m						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
HC－5	集毛器 （ウォータースライダー用）	口 径：150A		－	－	－	2台	ウォータースライダー機械置場
		材 質：SUS304製						
EP－2	ろ過機制御盤 （ウォータースライダー用）	形 式：屋外防雨自立形		3	200		1面	ウォータースライダー機械置場
		材 質：ステンレス製（内外指定色塗装）						別詳細図参照
		付属品：チャンネルベース						
P－1	滝用ポンプ	形 式：片吸込渦巻ポンプ（4極形）		3	200	3.7	1台	地下1階機械室
		能 力：125φ×100φ×1.400L/min×10mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
P－2	起流ポンプ	形 式：片吸込渦巻ポンプ（4極形）		3	200	11.0	1台	地下1階機械室
		能 力：150φ×125φ×3.500L/min×12mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
P－3	すべり台用ポンプ	形 式：片吸込渦巻ポンプ（4極形）		3	200	0.4	1台	地下1階機械室
		能 力：40φ×32φ×100L/min×10mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
P－4	噴射ポンプ	形 式：片吸込渦巻ポンプ（4極形）		3	200	3.7	1台	地下1階機械室
		能 力：65φ×50φ×300L/min×20mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
P－5	超音波用ポンプ	形 式：片吸込渦巻ポンプ（4極形）		3	200	2.2	2台	地下1階機械室
		能 力：65φ×50φ×500L/min×18mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－1	給湯用循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	1.5	1台	地下1階機械室
		能 力：50φ×340L/min×15mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－2	ジャグジー循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	1.5	1台	地下1階機械室
		能 力：40φ×150L/min×20mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－3	温泉プール（1）熱交 循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	0.75	1台	地下1階機械室
		能 力：40φ×150L/min×10mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－4	温泉プール（2）熱交 循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	0.75	1台	地下1階機械室
		能 力：40φ×150L/min×10mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－5	ジャグジー熱交循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	1.5	1台	地下1階機械室
		能 力：40φ×150L/min×20mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－6	体育館給湯循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	0.75	1台	地下1階機械室
		能 力：32φ×50L/min×20mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
LP－7	プール男子更衣室用 循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	0.75	1台	地下1階機械室
		能 力：32φ×50L/min×15mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						

記号	品 名	仕 様 及 び 付 属 品		電 気 特 性			数量	備 考
				φ	V	kW		
LP－9	給湯ソーラー熱交用 循環ポンプ	形 式：ラインポンプ		3	200	1.5	1台	地下1階機械室
		能 力：50φ×300L/min×10mH						
		付属品：圧力計、銘板他付属品一式						
OP－1	油ポンプ（往）	形 式：灯油用自吸式		3	200	0.4	1台	地下1階ボイラー室
		能 力：25φ×30L/min×10mH						
		付属品：圧力計、連成計銘板他付属品一式						
OP－2	油ポンプ（返）	形 式：灯油用自吸式		3	200	0.4	1台	地下1階ボイラー室
		能 力：25φ×30L/min×10mH						
		付属品：圧力計、連成計銘板他付属品一式						
PU－1	散水用給水ポンプユニット	形 式：インバータ制御 自動交互並列運転		3	200	3.7×2	1台	地下1階機械室
		能 力：50φ×65φ×400L/min×40mH						コンクリート基礎は既存使用
		付属品：制御盤（一括警報用無電圧接点付）、圧力計、銘板他付属品一式						

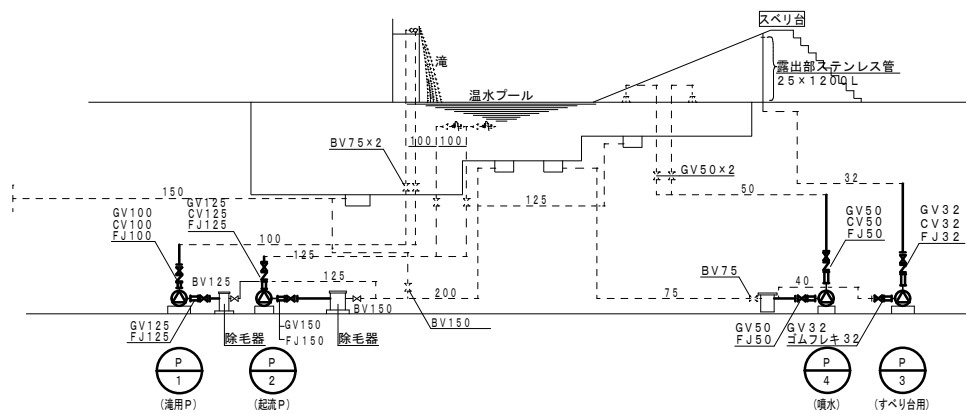
※電気容量は参考値とする。

機械設備

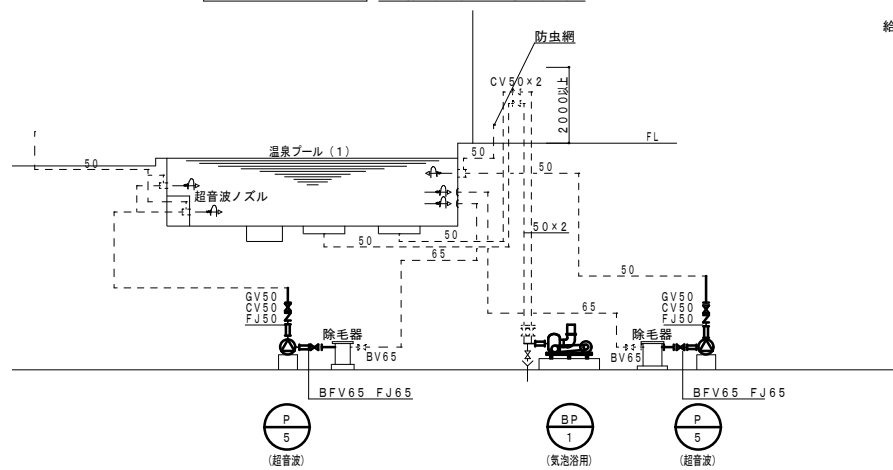
株式会社 タナカ設備事務所				かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事			
一級建築士 設備設計一級建築士	第 352935 号 田中 義人 第 4564 号 田中 義人	機器明細表（2）（改修後）		A1= - A3= -	7		
		鹿児島市建設局建築部設備課			全 39		



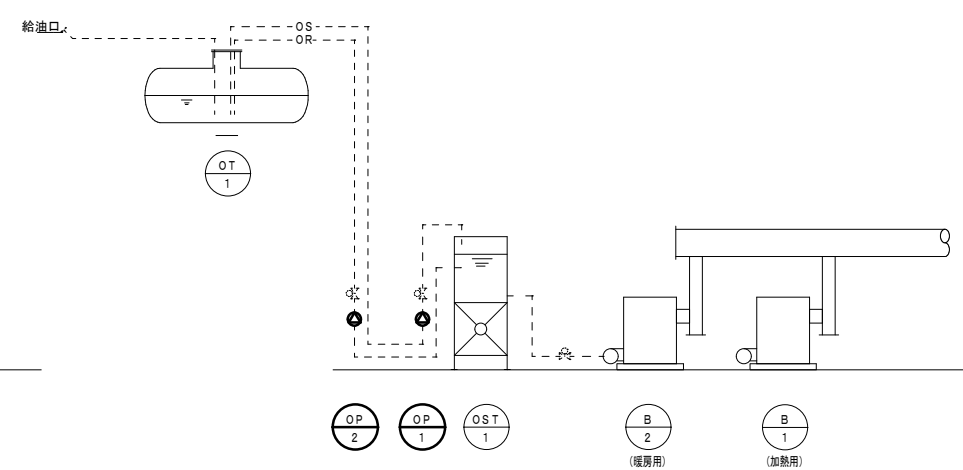
ろ過配管系統図 ※本線は、改修機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



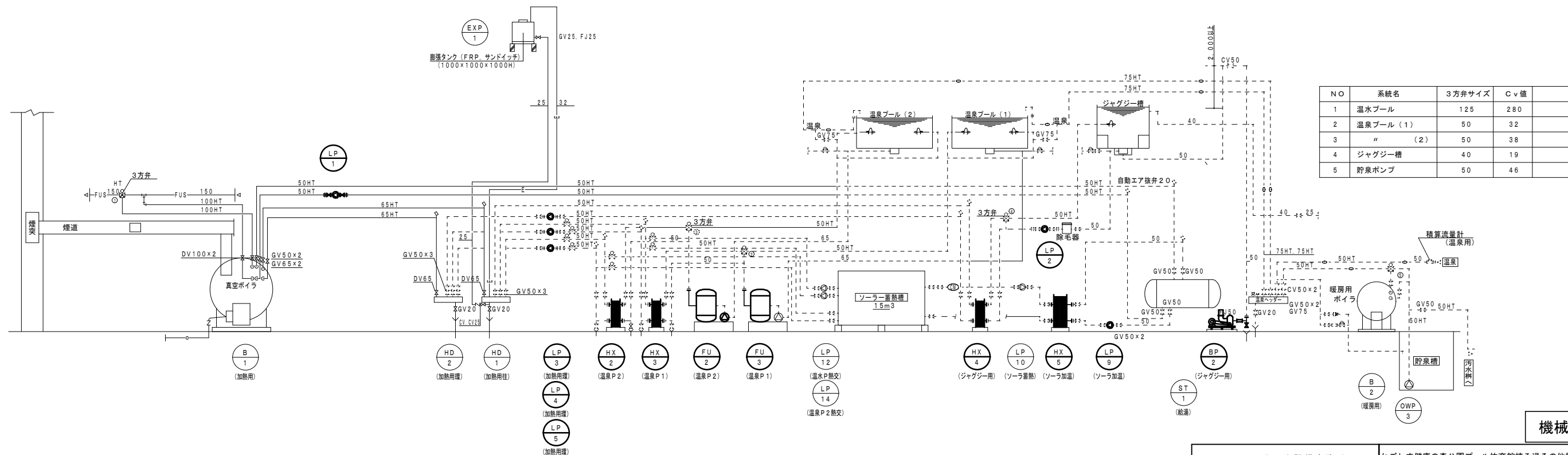
温泉プール特殊設備配管系統図 ※本線は、改修機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



温泉プール (1) 特殊設備配管系統図 ※本線は、改修機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



オイル配管系統図 ※本線は、改修機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



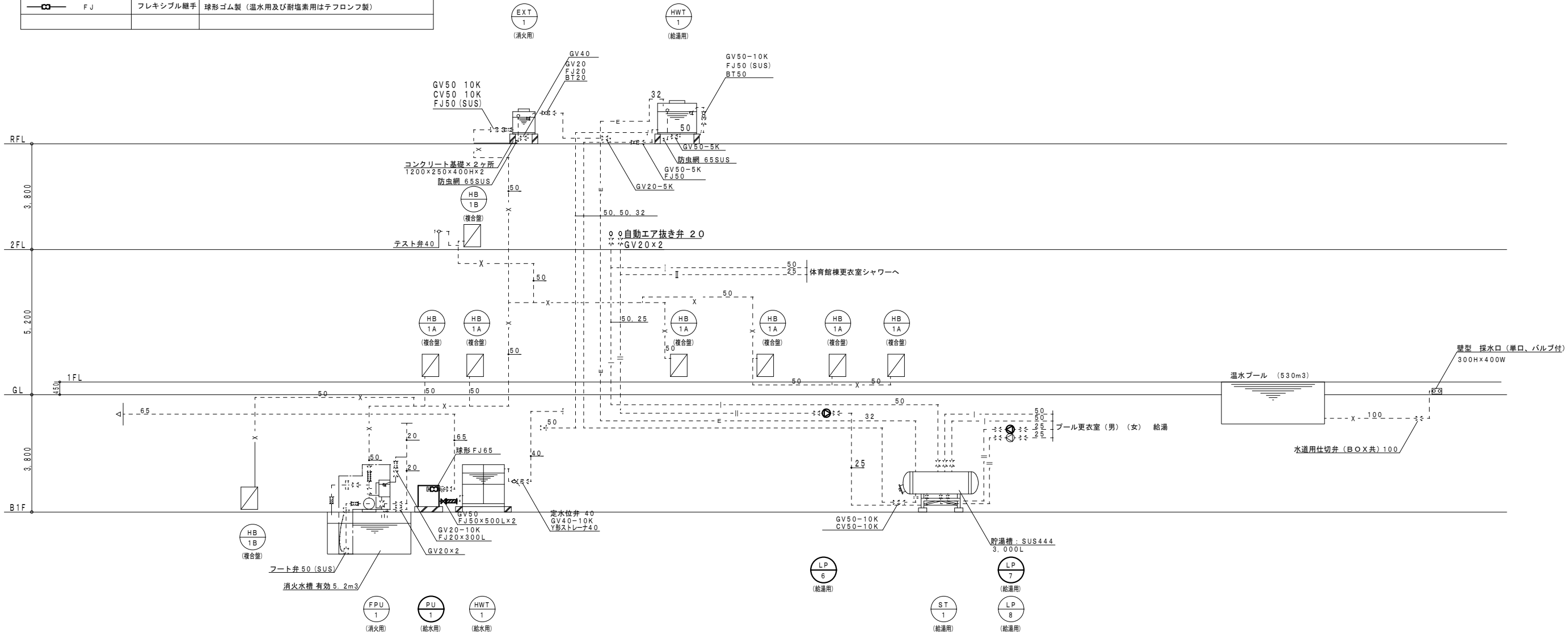
プール関係熱源系統図 注1) 本線は、改修機器・配管を示す。
注2) 点線は、既存のまま使用する。
注3) 機器周りの配管・バルブ類は別詳細図参照のこと。

NO	系統名	3方弁サイズ	Cv値	
1	温水プール	125	280	
2	温泉プール (1)	50	32	
3	" (2)	50	38	
4	ジャグジー槽	40	19	
5	貯泉ポンプ	50	46	

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	田中 義人	8
設備設計一級建築士	第 4564 号	田中 義人	全 39
鹿児島市建設局建築部設備課			

凡 例		
記 号	名 称	使用管材・弁類仕様
SS SR	太陽熱配管	ステンレス鋼管（SUS304）
BA	フロア配管	耐熱性硬質塩化ビニル管（HTVP）
FUS FUR FVA	ろ過配管	フランジ付硬質塩化ビライニング鋼管（SGP-FVA）
FUS FUR VP	ろ過配管	ポリ塩化ビニル管（VP）
FCS FCR HFVA	プール管	フランジ付耐熱性硬質塩化ビライニング鋼管（SGP-H-FVA）
FCS FCR HTVP	プール管	フランジ付耐熱性ポリ塩化ビニル管（HTVP）
BW	逆洗管	配管用炭素鋼鋼管（SGP<白>）
BW VP	逆洗管	ポリ塩化ビニル管（VP）
HS HT	温水管	耐熱性硬質塩化ビニル管（HTVP）
SPA	温泉管	耐熱性硬質塩化ビニル管（HTVP）
OV	オイル管	配管用炭素鋼鋼管（SGP<黒>）
GV	ゲート弁	ポンプ廻り JIS-10K その他 JIS-5K
GV PVC	ゲート弁	塩化ビニル製（他バルブも同じ）
GV HPVC	ゲート弁	耐熱性塩化ビニル製（田原部も同じ）
GV	ゲート弁（油用）	マレアブル製
BV	ボール弁	
BV	バタフライ弁	
CV	逆止弁	JIS-10K
SCV	衝撃吸収式逆止弁	
FJ	フレキシブル継手	ステンレス製
FJ	フレキシブル継手	球形ゴム製（温水管及び耐塩素用はテフロン製）

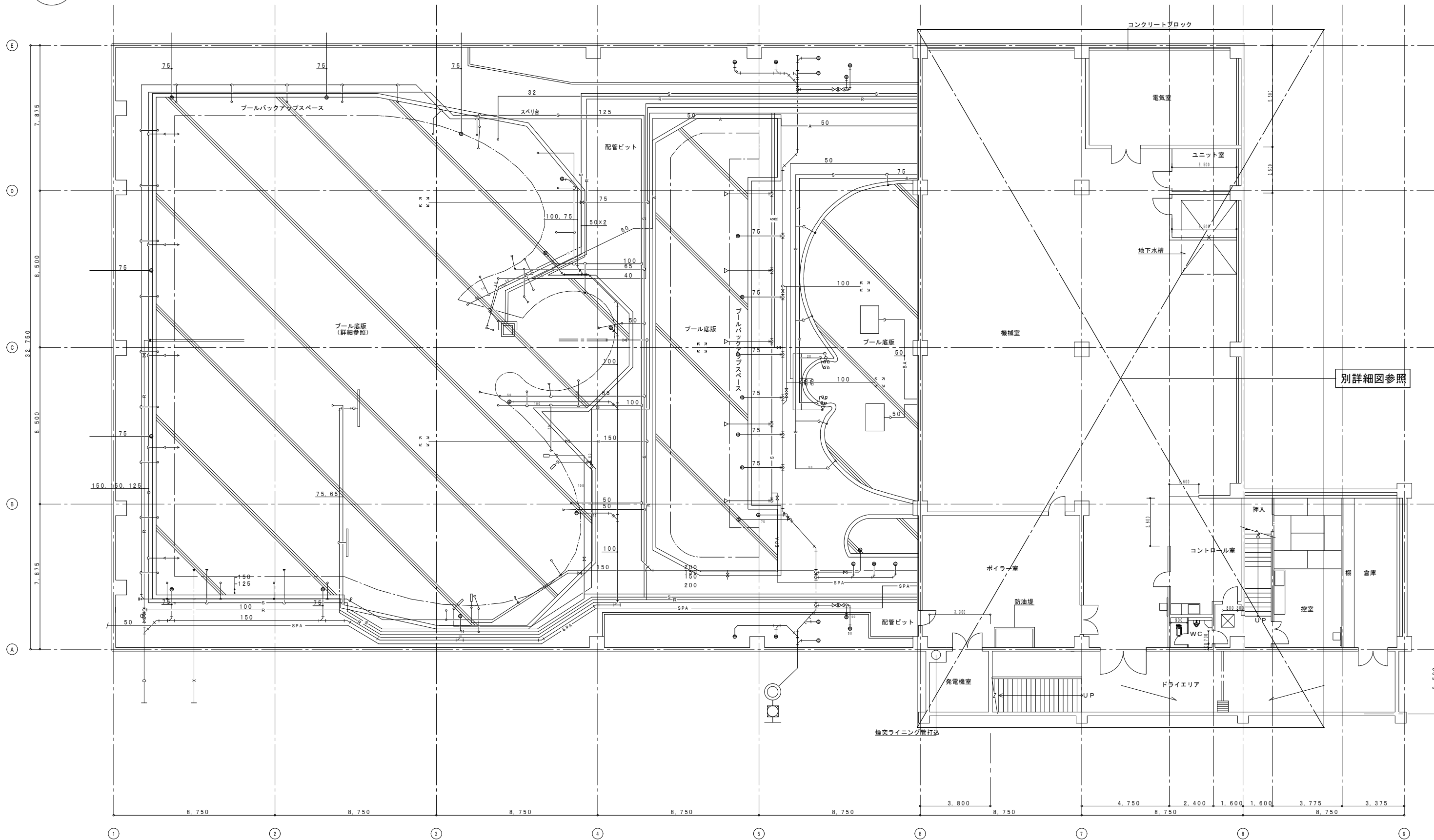
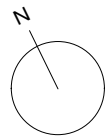


注1）太線は、改修機器・配管を示す。
注2）点線は、既存のまま使用する。
注3）機器廻りの配管・バルブ類は別詳細図参照のこと。

衛生設備配管系統図

機械設備

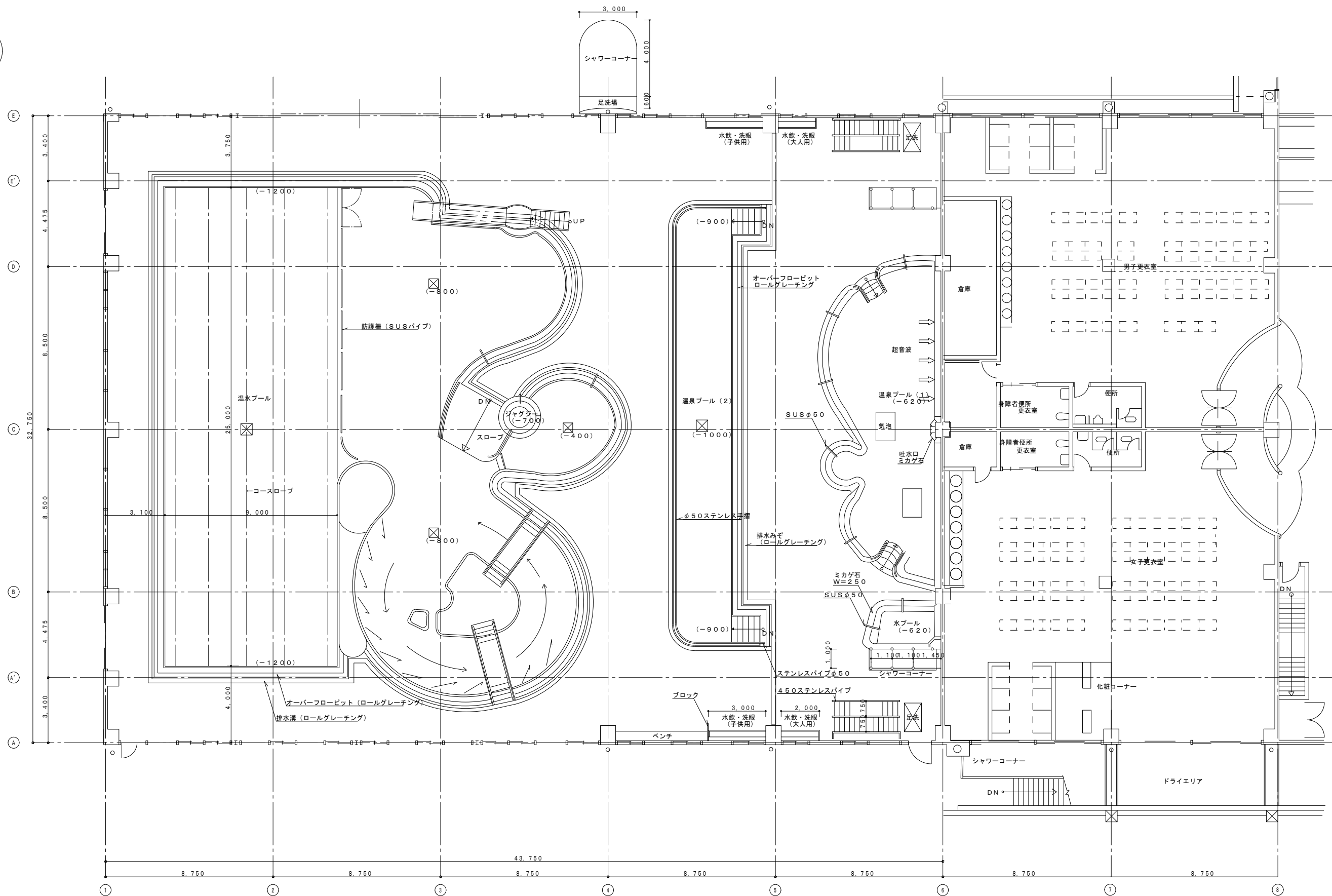
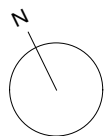
株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	配管系統図（2）（改修後）	A1= - A2= - 9
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39



地下1階平面図（改修後）S=1：200

機械設備

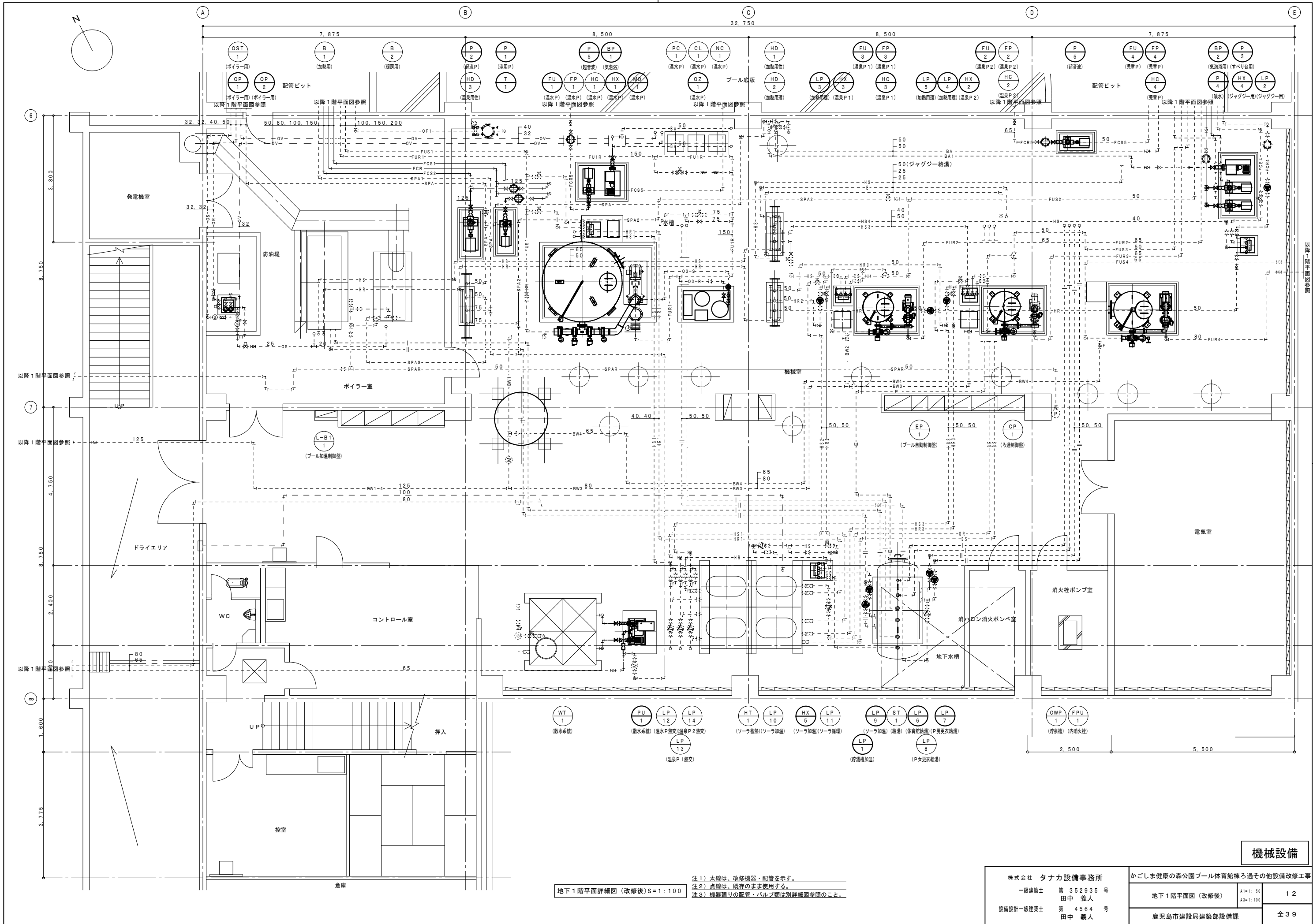
株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図（改修後）	A1=1:100 A3=1:200 10
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全39
田中 義人			



1階平面図（改修後） S=1:200

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	1階平面図（改修後）	A1=1:100 A3=1:200
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	1 1
田中 義人	田中 義人		全 3 9

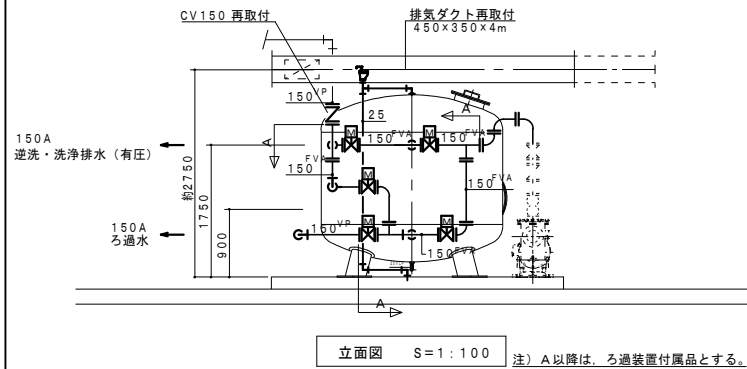
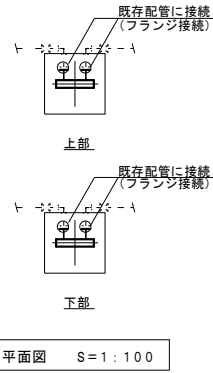
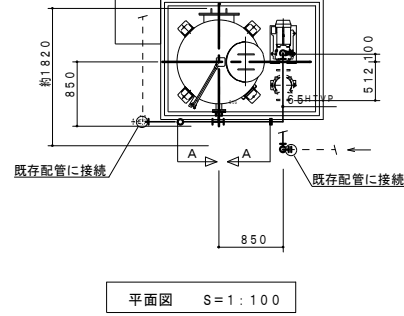
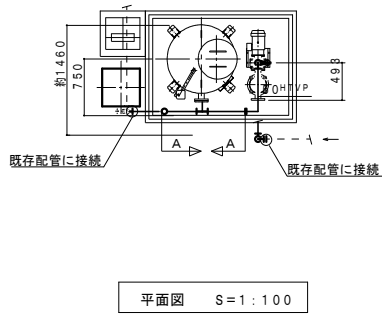
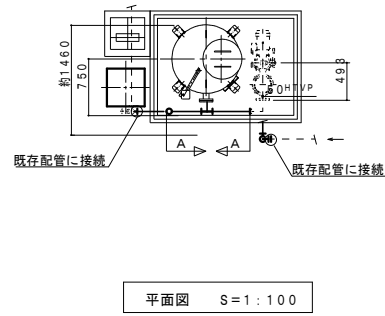
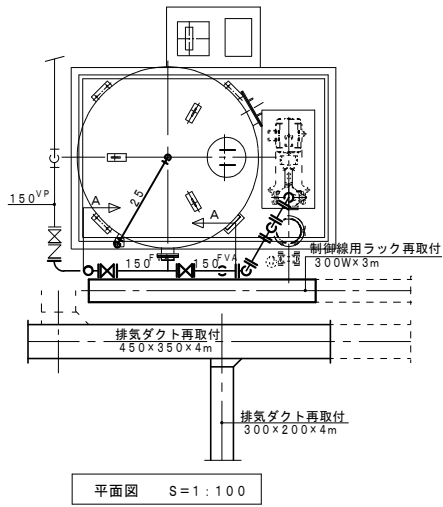


機械設備

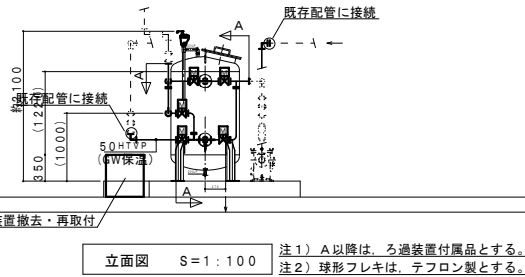
株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図 (改修後)	A1=1: 50 A2=1: 100
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	12
田中 義人	田中 義人		全 39

注1) 太線は、改修機器・配管を示す。
注2) 点線は、既存のまま使用する。
注3) 機器通りの配管・バルブ類は別詳細図参照のこと。

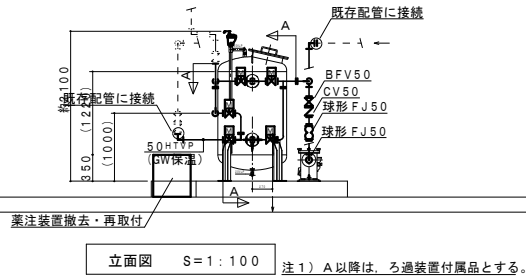
注 1) 本図面は機器廻りの改修範囲を示すが、更新機器やバルブ類の形状・寸法が既存と異なる場合や、機器の設置位置変更などにより改修範囲の変更が生じる場合は、事前に監督職員と調整の上施工のこと。
注 2) 更新機器固定に既存アンカーを使用する場合は、強度調査（引張試験）を行い耐震性に支障がないことを確認すること。
注 3) アンカー本数・仕様は参考とし、メーカー決定後の耐震計算書により決定すること。



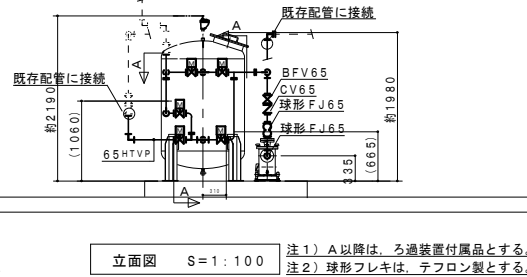
温水プール用ろ過機 FU-1



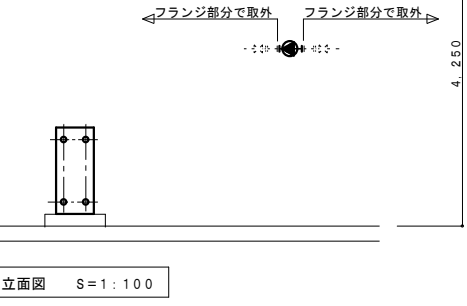
温泉プール（1）用ろ過機 FU-3



温泉プール（2）用ろ過機 FU-2 ろ過逆洗ポンプ FP-2

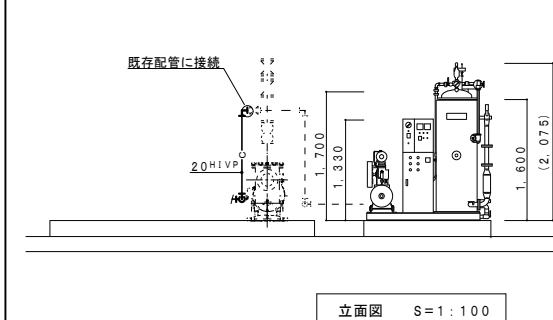
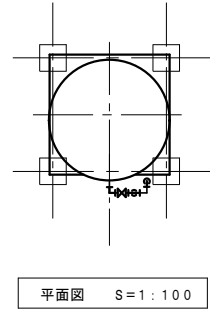
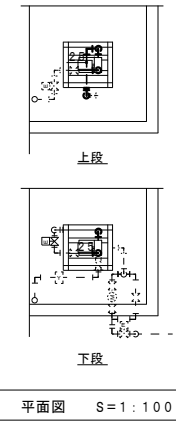
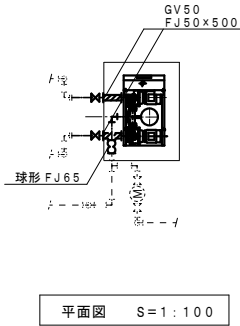
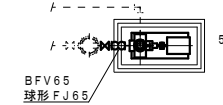
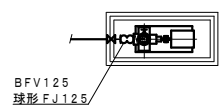
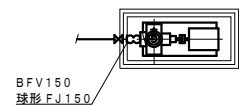
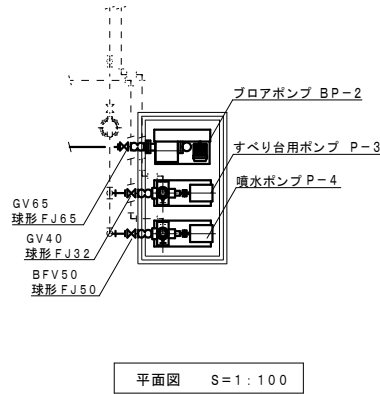
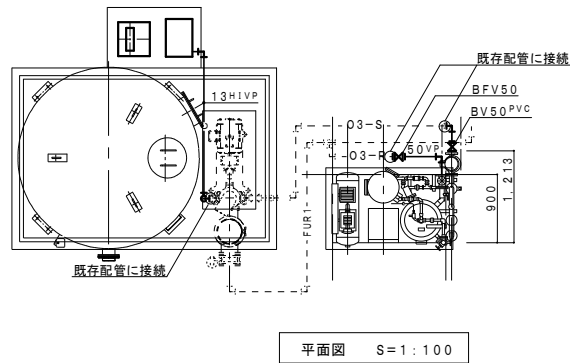


児童プール用ろ過機 FU-4 ろ過逆洗ポンプ FP-4



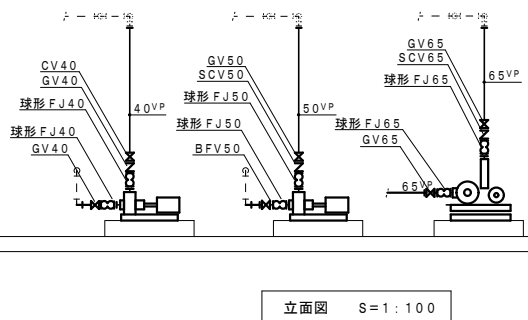
熱交換器 HX-1~5

ラインポンプ LP-1~9



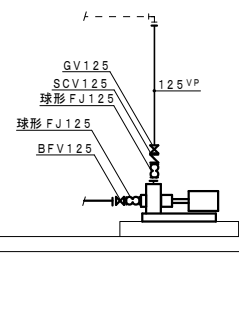
水質監視装置 M0-1

オゾン反応装置 OZ-1

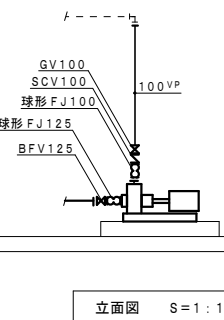


すべり台用ポンプ P-3

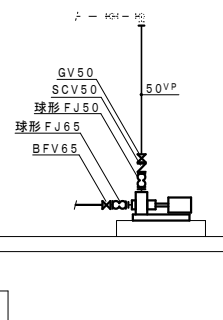
噴水ポンプ P-4 プロアポンプ BP-1・2



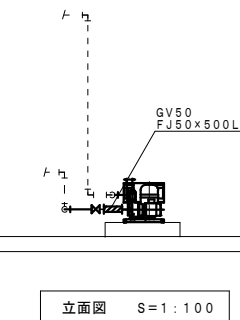
起流ポンプ P-2



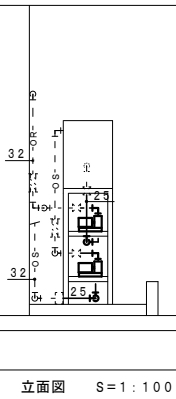
適用ポンプ P-1



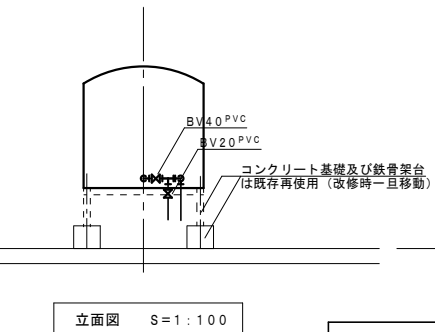
超音波用ポンプ P-（1）・（2）



散水用加圧ポンプ PU-1



オイルポンプ OP-1・2



塩素タンク T-1

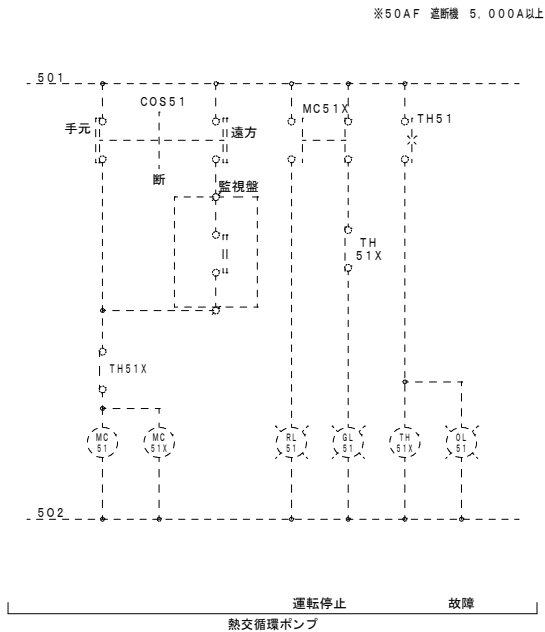
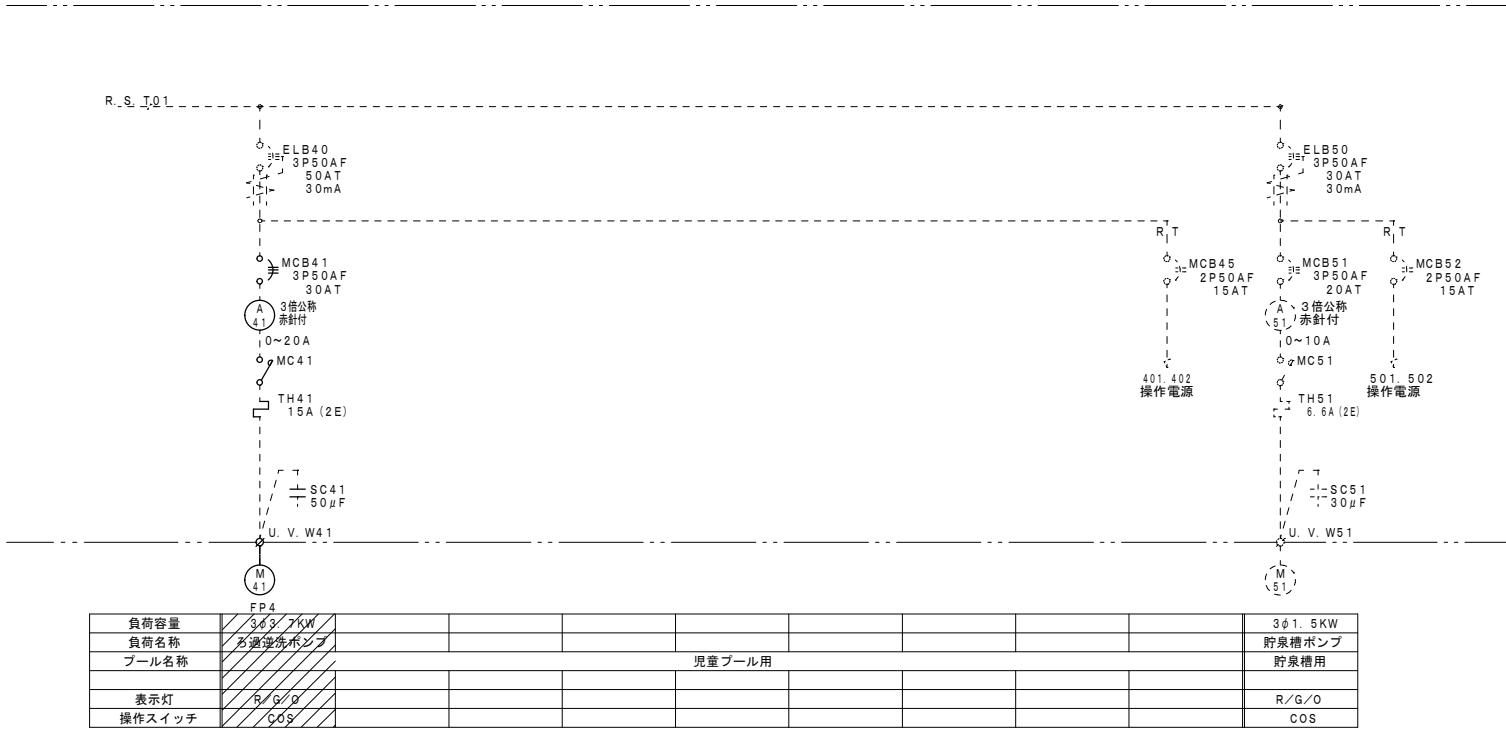
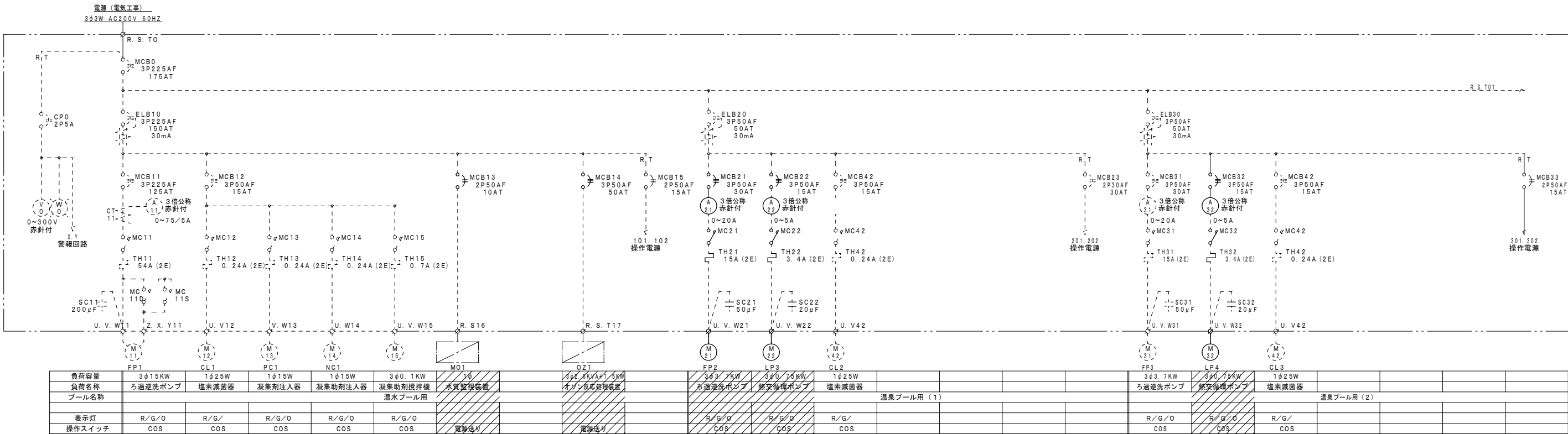
機械設備

改修機器廻り配管図（改修後）S=1:100

※太線は、改修配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

株式会社 タナカ設備事務所
一級建築士 第 352935 号
田中 義人
設備設計一級建築士 第 4564 号
田中 義人

かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事
改修機器廻り配管図（改修後）
A1=1: 50
A3=1:100
13
鹿儿島市建設局建築部設備課
全 39

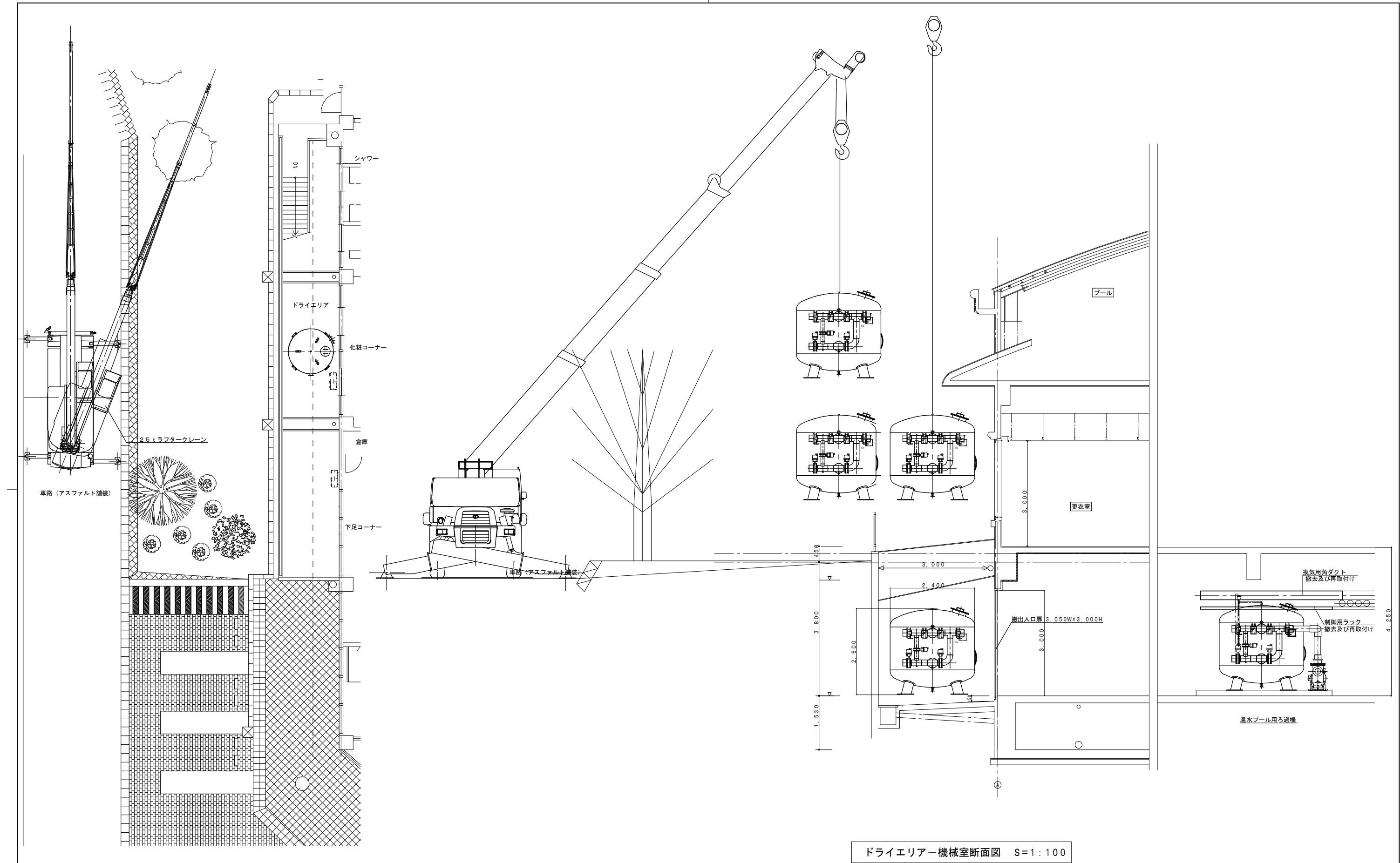


ろ過機制御盤図 No Scale

※太線は、改修箇所を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機盤図 (1) (改修後)	A1= - A3= - 14
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39
田中 義人			

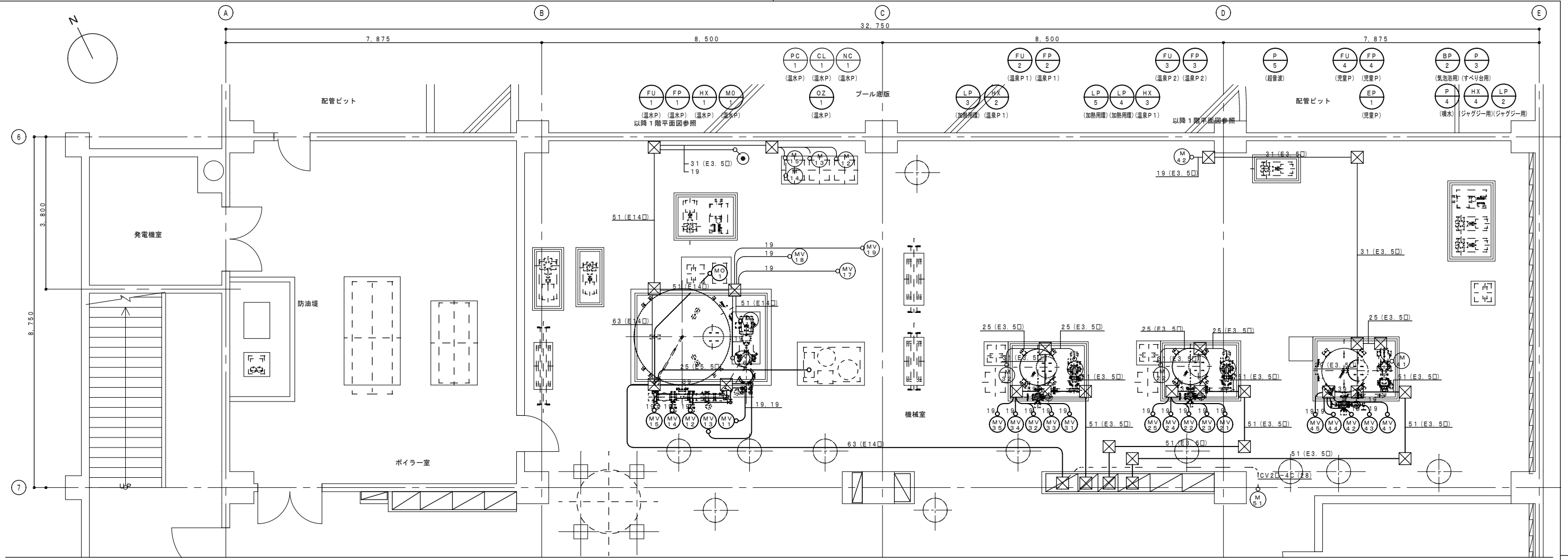


ドライエリア平面図 S=1:200

ドライエリアー機械室断面図 S=1:100

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機搬入計画図	A1=1:50 A2=1:100 A3=1:200
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	15
田中 義人	田中 義人		全 39



プール名称	温水プール				
	負荷名称	記号	相	電圧容量	電線サイズ本数
ろ過逆洗ポンプ	(FU-1)	3	200	15kw	22□ 6
	塩素減毒器				
	凝集剤注入器				
	凝集剤攪拌機				
	水質監視装置	MO1	3	200	2□ 6
オゾン反応処理装置	OZ1	3	"		5.5□ 3
ろ過洗浄入口弁	MV11	3	"		1.25□ 4
ろ過出口弁	MV12	3	"		1.25□ 4
逆洗入口弁	MV13	3	"		1.25□ 4
逆洗出口弁	MV14	3	"		1.25□ 4
洗浄出口弁	MV15	3	"		1.25□ 4
サンプル水採水弁	MV16	3	200		1.25□ 4
還水槽回収弁	MV17	3	"		1.25□ 8
還水槽流入弁	MV18	3	"		1.25□ 4
逆洗洗浄切替弁	MV19	3	"		1.25□ 4
還水槽補給水弁	MV111	3	"		1.25□ 4
温水槽水位計	WLS11				1.25□ 4
"	WLS12				1.25□ 3

※各機器のアース配線は、本工事にて別途施工すること。

プールの名称	温泉プール（２）					温泉プール（２）					児童プール（屋外）							
負荷名称	記号	負荷容量		電線			記号	負荷容量		電線			記号	負荷容量		電線		
		相	電圧	容量	サイズ	本数		相	電圧	容量	サイズ	本数		相	電圧	容量	サイズ	本数
ろ過逆洗ポンプ	(FU-3)	3	200	3.7kw	3.5□	3	M31 (FU-2)	3	200	3.7kw	3.5□	3	M41 (FU-4)	3	200	3.7kw	3.5□	3
塩素減毒器													M42	1	〃	15w	2□	2
凝集剤注入器													M43	1	〃	15w	2□	2
凝集助剤注入器													M44	1	〃	15w	2□	2
凝集助剤攪拌機													M45	3	〃	0.1kw	2□	3
水質監視装置																		
オゾン反応処理装置																		
ろ過洗浄入口弁	MV21	3	200		1.25□	4	MV31	3	200		1.25□	4	MV41	3	200		1.25□	4
ろ過出口弁	MV22	3	〃		1.25□	4	MV32	〃	〃		1.25□	4	MV42	〃	〃		1.25□	4
逆洗入口弁	MV23	3	〃		1.25□	4	MV33	〃	〃		1.25□	4						
逆洗出口弁	MV24	3	〃		1.25□	4	MV34	〃	〃		1.25□	4						
洗浄出口弁	MV25	3	〃		1.25□	4	MV35	〃	〃		1.25□	4						
サンプル水採水弁																		
プール補給水弁													MV401	3	200		1.25□	4
プール水位計													WLS441	3	〃		1.25□	3
熱交換循環ポンプ	M22	3	200	0.75kw	2□	3	M32		200	0.75kw	2□	3						

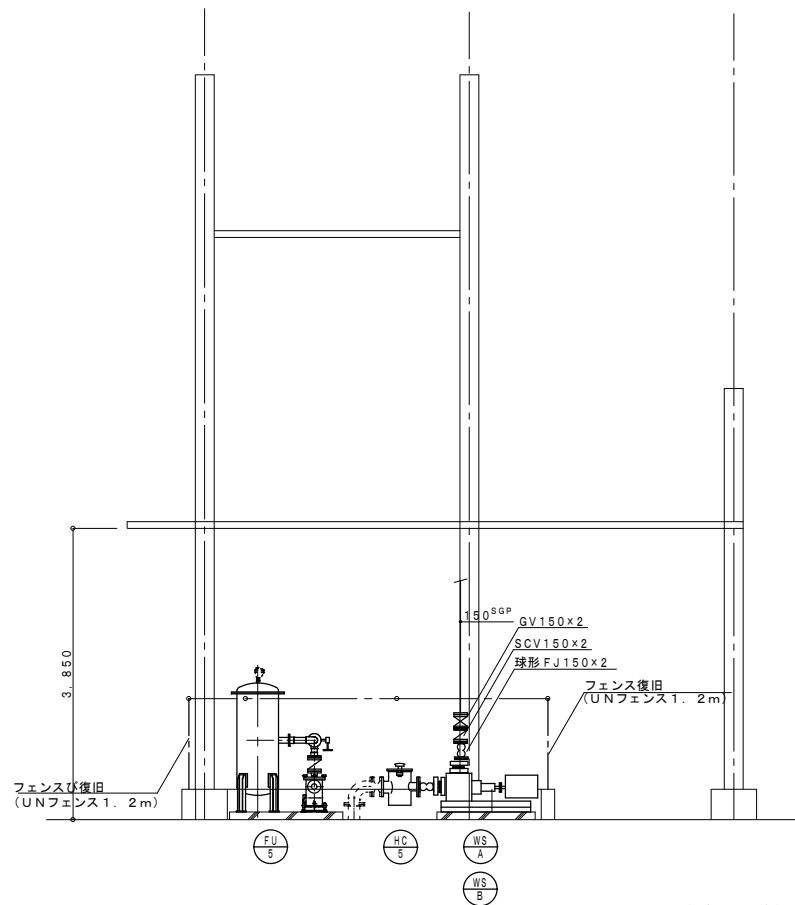
※各機器のアース配線は、本工事にて別途施工すること。

地下1階平面詳細図 (2次側電気結線図) (改修後) S=1:100

※本線は、改修を示す。(機器電源の結線)
※配管、ボックス、ラックは既存使用とする。
※細線は、既存のまま使用する。

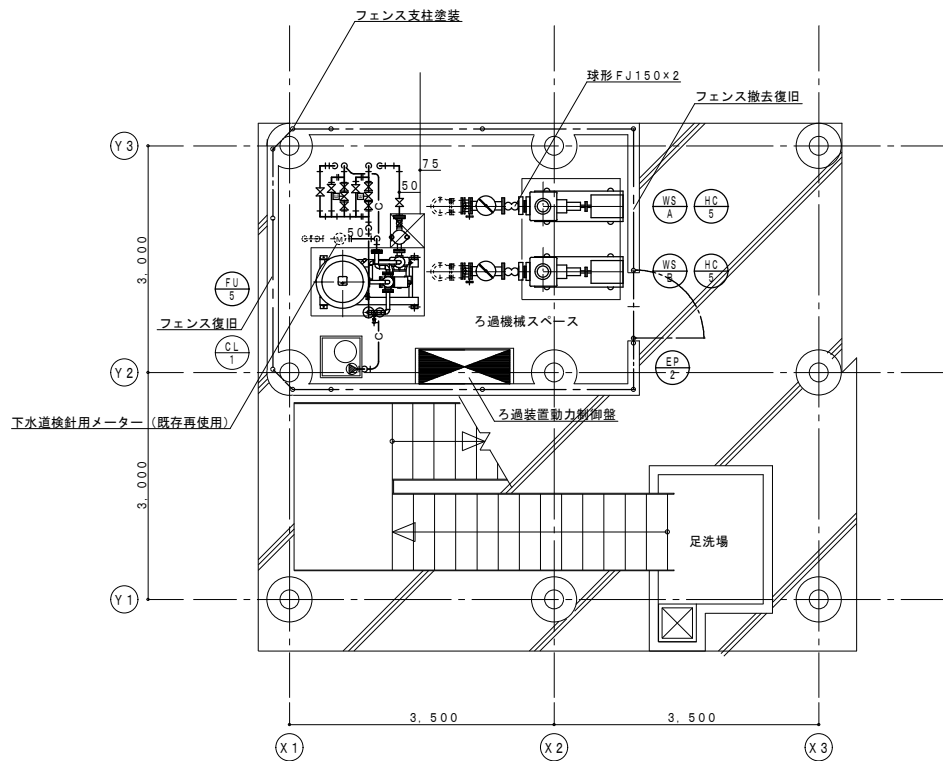
参考図
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図 (ろ過2次側配線) (改修後)	A1=1:50 A3=1:100
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	16 全39
田中 義人			



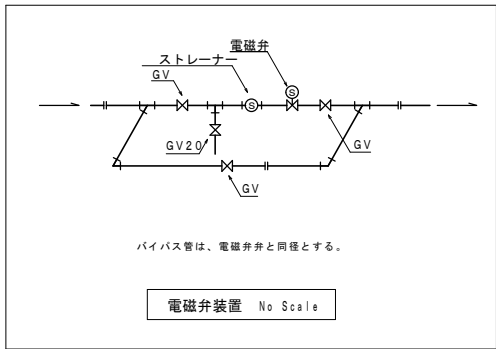
ウォーターズライダー機械置場断面詳細図 (改修後) S=1:100

※太線は、改修機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



ウォーターズライダー機械置場平面詳細図 (改修後) S=1:100

※太線は、改修機器・配管を示す。
※細線は、既存のまま使用する。



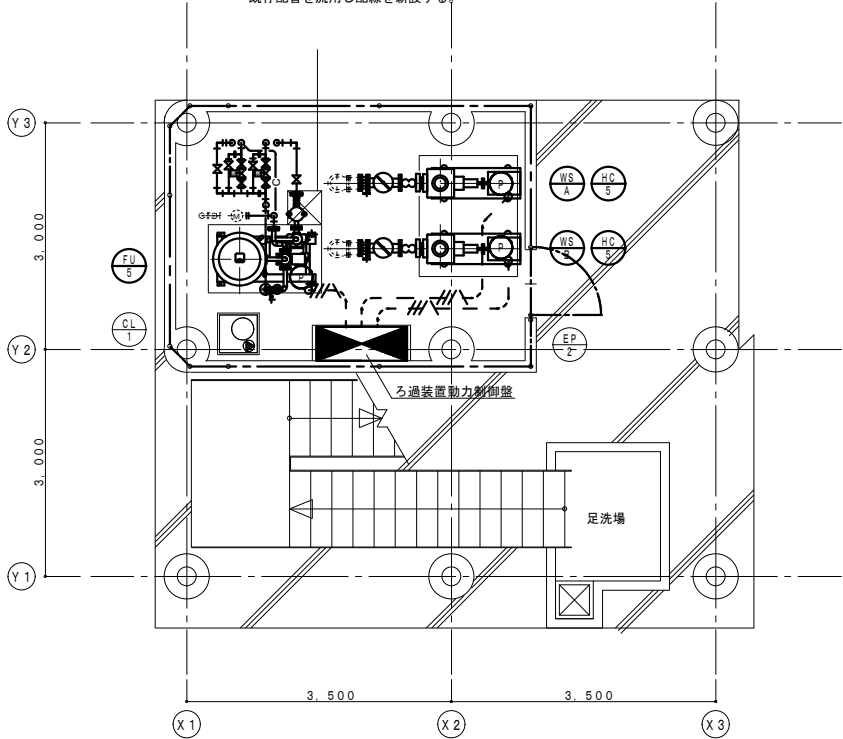
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ウォーターズライダー詳細図 (改修後)	17
設備設計一級建築士	第 4564 号		
田中 義人	田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39

注記) 図中各機器への接続は傍記を除き、ブリーカチューブ (F2-24) を使用のこと。

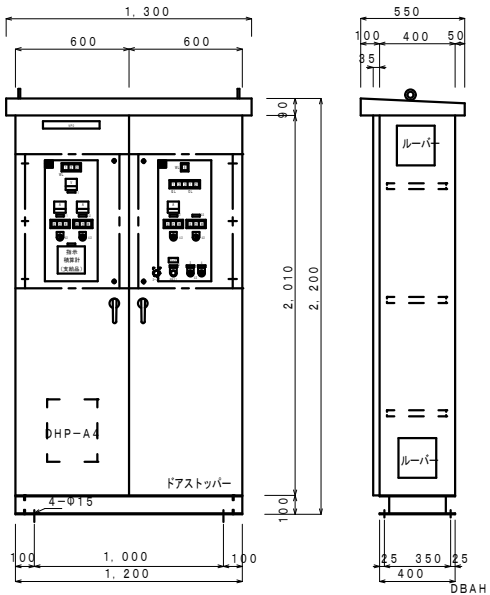
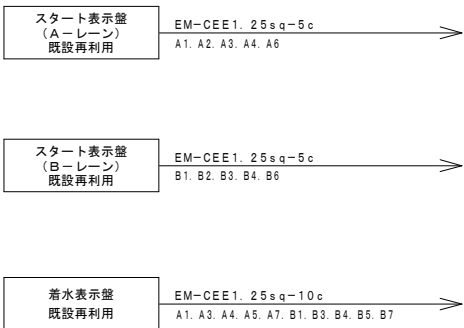
- — ケーブルラック配線若しくは露出配管配線を示す。
- — 床隠蔽配管配線を示す。
- // — 1E2.0×3 E2.0 (22)を示す。
- ☒ ブルボックス 200×200×200 (SPC)を示す

既存配管を流用し配線を新設する。



ウォーター 슬라이ダー機械置場平面詳細図 (改修後) S=1:100

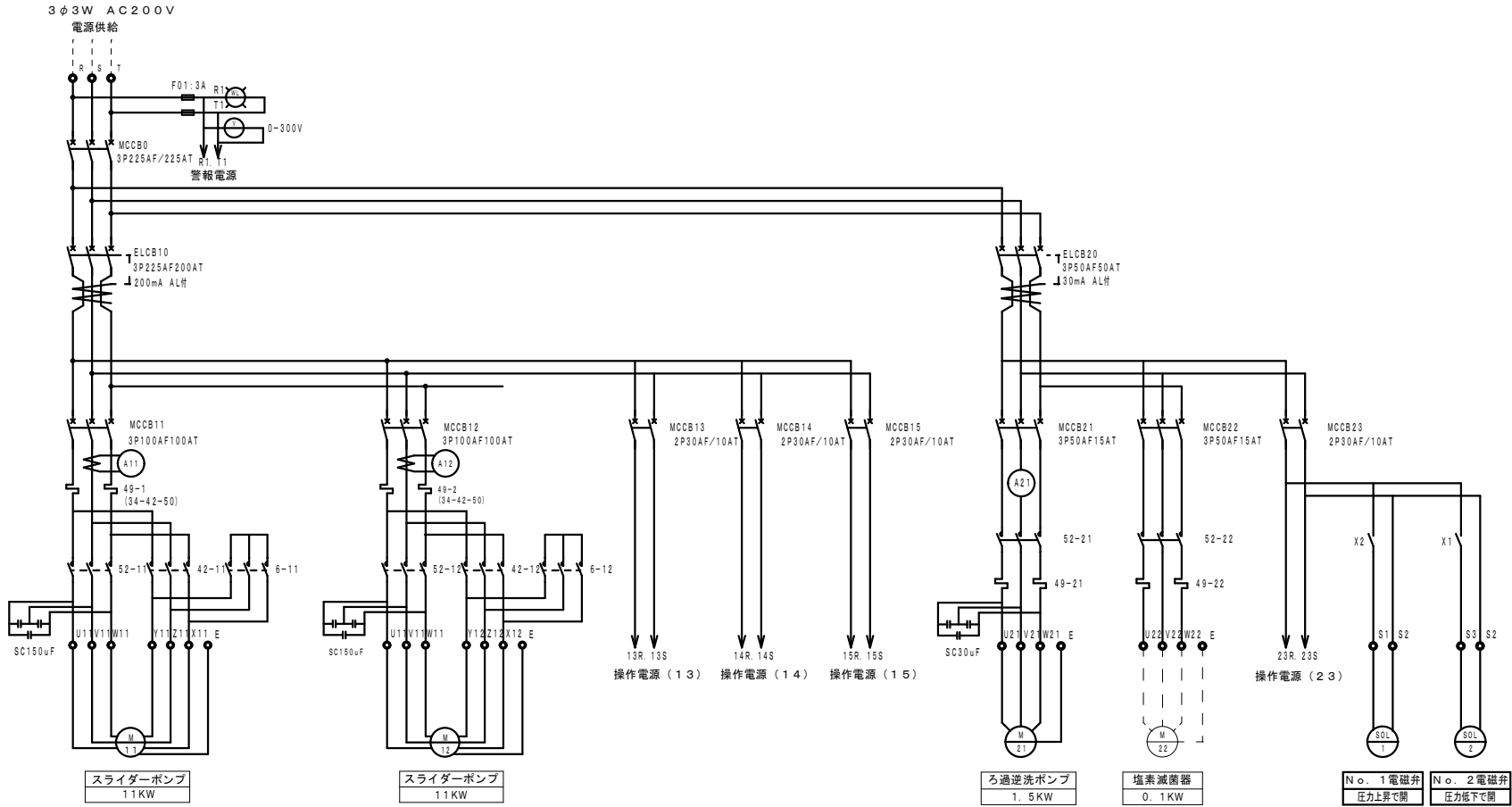
※太線は、改修機器・配管を示す。
※細線は、既存のまま使用する。



制御盤外形図 (改修後) S=1:20

NO	文 字	備 考
NP0	スライダールール制御盤	
11	NO. 1 スライダーポンプ	
12	NO. 2 スライダーポンプ	
21	ろ過逆洗ポンプ	
22	塩素減菌器	
01	主電圧計	
1	指示積算計	
2	再生指示	
3	NO. 1 電磁弁	
4	NO. 2 電磁弁	
WL1	電 源	
2	操作電源 (14)	
3	操作電源 (15)	
4	操作電源 (23)	
GL1	ろ過	
2	逆洗	
3	洗浄	
OL1	スライダー漏電	
2	ろ過機 漏電	
PB21	再生	
3-LT	ランプテスト	

ステンレス製
チャンネルベース 100×50×t4
塗装色 外部 5Y7/1 内部 5Y7/1
使用鋼板 本体 2.0t 扉 2.0t
屋外防雨自立型



動力盤結線図 (改修後) P-B1-1

※太線は、改修機器類を示す。
※細線は、既存のまま使用する。

機械設備

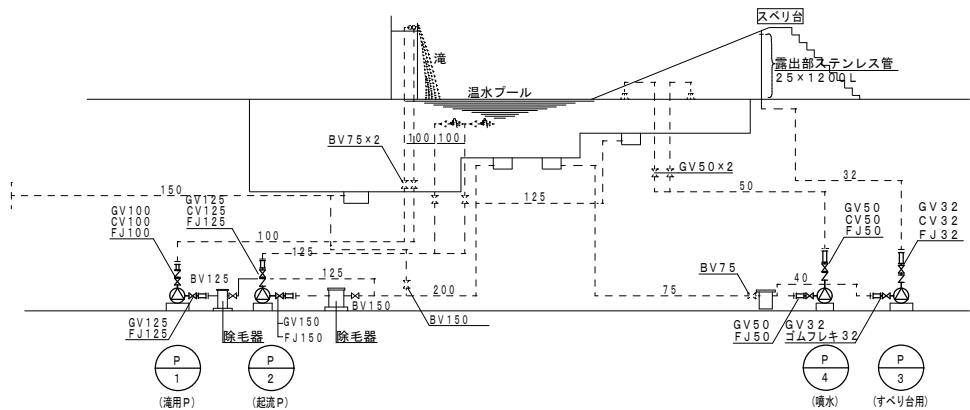
株式会社 タナカ設備事務所	かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事
一級建築士 第 352935 号	ウォーター 슬라이ダー詳細図 (改修後) A1=1:50 A3=1:100
設備設計一級建築士 第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課
田中 義人	18
田中 義人	全 39

機器明細表

記 号	品 名	仕 様		電 源	台数	備 考
P U - 1	散水用給水ポンプユニット	仕 様 能 力 付属品	: 吐出圧一定 自動交互並列運転 : 50φ×65φ×400L／min×40m : 制御盤搭載型警（報用無電圧接点付）	川本製作所 65KNV506 P3.7	3φ×200V×3.7kw×2	1 B1F：機械室
B P - 1	気泡浴用ブローア	仕 様 能 力 付属品	: ルーツ式 : 50φ×0.2kg／cm2×3.0m3／min : 防振架台	アンレット BS-65	3φ×200V×2.2kw	1 B1F：機械室
P - 1	滝用ポンプ	仕 様 能 力	: 渦巻形 : 125φ×100φ×1,400L／min×10mH	川本製作所 GJ-125×1006-4M3.7	3φ×200V×3.7kw	1 B1F：機械室
P - 2	起流ポンプ	仕 様 能 力	: 渦巻形 : 150φ×125φ×3,500L／min×12mH	川本製作所 GFK-150×1256-4M11	3φ×200V×11.0kw	1 B1F：機械室
P - 3	すべり台用ポンプ	仕 様 能 力	: 渦巻形 : 40φ×32φ×100L／min×10mH	川本製作所 GJ-40×326-4MN0.4	3φ×200V×0.4kw	1 B1F：機械室
P - 4	噴射ポンプ	仕 様 能 力	: 渦巻形 : 65φ×50φ×300L／min×20mH	川本製作所 GK-65×506-4M3.7	3φ×200V×3.7kw	1 B1F：機械室
P - 5	超音波用ポンプ	仕 様 能 力	: 渦巻形 : 65φ×50φ×500L／min×18mH	川本製作所 GEK-656M4ME2.2	3φ×200V×2.2kw	2 B1F：機械室
L P - 1	給湯用循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 50φ×340L／min×15mH	川本製作所 P-506-1.5	3φ×200V×1.5kw	1 B1F：機械室
L P - 2	ジャクジー循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 40φ×150L／min×20mH	川本製作所 P-406-1.5	3φ×200V×1.5kw	1 B1F：機械室
L P - 3	温泉プール（1）熱交循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 40φ×150L／min×10mH	川本製作所 P-406-0.75	3φ×200V×0.75kw	1 B1F：機械室
L P - 4	温泉プール（2）熱交循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 40φ×150L／min×10mH	川本製作所 P-406-0.75	3φ×200V×0.75kw	1 B1F：機械室
L P - 5	ジャグジー熱交循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 40φ×150L／min×20mH	川本製作所 P-406-1.5	3φ×200V×1.5kw	1 B1F：機械室
L P - 6	体育館給湯循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 32φ×50L／min×20mH	川本製作所 P-326-0.75	3φ×200V×0.75kw	1 B1F：機械室
L P - 7	プール男子更衣室用循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 32φ×50L／min×15mH	川本製作所 P-326-0.75	3φ×200V×0.75kw	1 B1F：機械室
L P - 9	給湯ソーラー熱交用循環ポンプ	仕 様 能 力	: ラインポンプ : 50φ×300L／min×10mH	川本製作所 P-506-1.5	3φ×200V×1.5kw	1 B1F：機械室
H X - 4	ジャクジー用熱交換器	仕 様 能 力	: プレート型 : 46.5KW	ZENSHIN SIGMA-17		1 B1F：機械室
B P - 2	ジャグジー用ブローア	仕 様 能 力 付属品	: ルーツ式 : 50φ×0.4kg／cm2 x1.0m3／min : 防振架台	アンレット BS-50	3φ×200V×2.2kw	1 B1F：機械室
H X - 5	蓄熱槽－温水プール用熱交換器	仕 様 能 力	: プレート型 : 104.7KW	ZENSHIN SIGMA-17		1 B1F：機械室
O P - 1	油ポンプ（往）	仕 様 能 力	: 灯油用自吸式 : 25φ×30L／min×10mH	川本製作所 OC-256-M0.4	3φ×200V×0.4kw	1 B1F：ボイラー室
O P - 2	油ポンプ（返）	仕 様 能 力	: 灯油用自吸式 : 25φ×30L／min×10mH	川本製作所 OC-256-M0.4	3φ×200V×0.4kw	1 B1F：ボイラー室

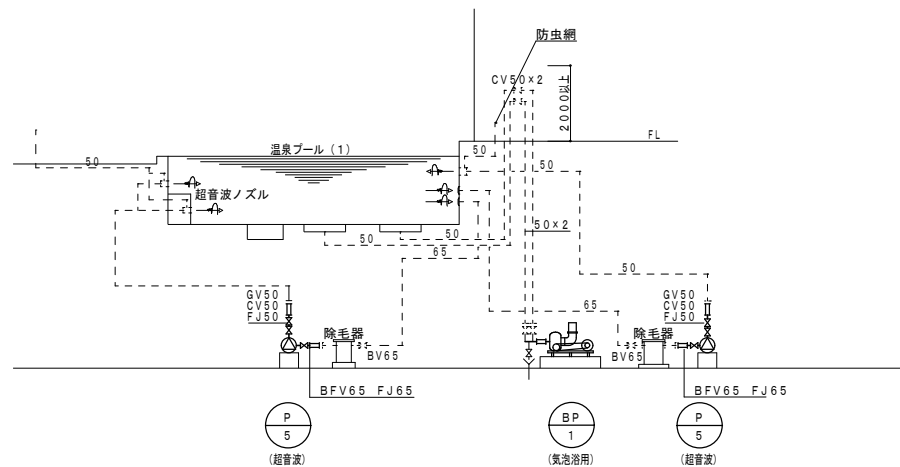
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 3 5 2 9 3 5 号	機器明細表（撤去）	A1= - A3= - 1 9
設備設計一級建築士	第 4 5 6 4 号		
	田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課	
	田中 義人	全 3 9	



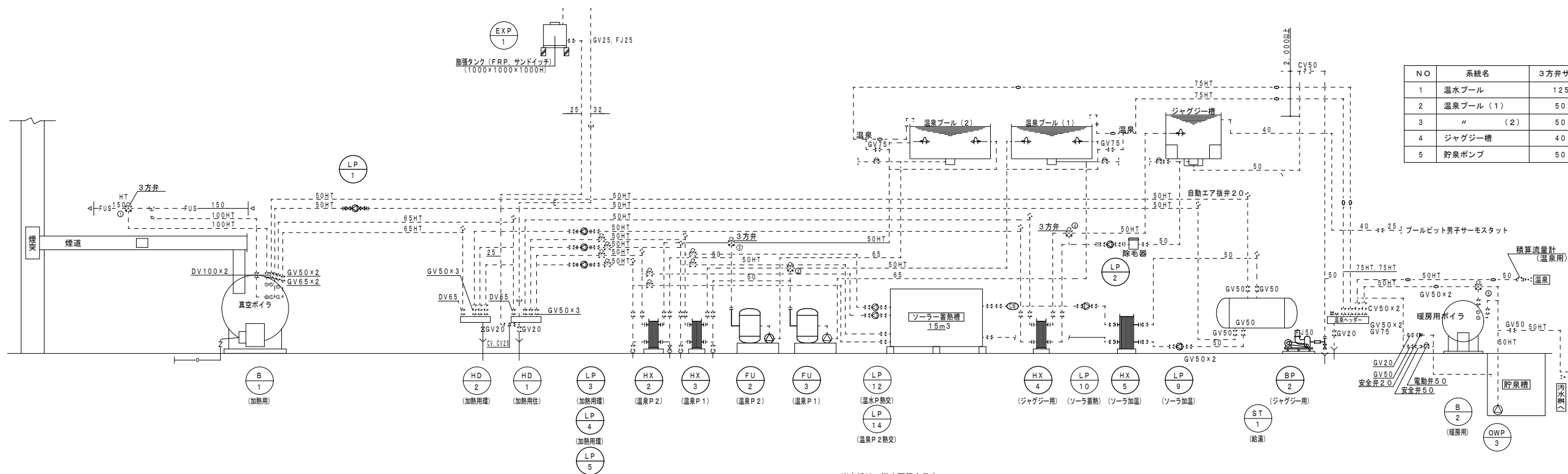
温泉プール特殊設備配管系統図

※本線は、撤去機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



温泉プール（１）特殊設備配管系統図

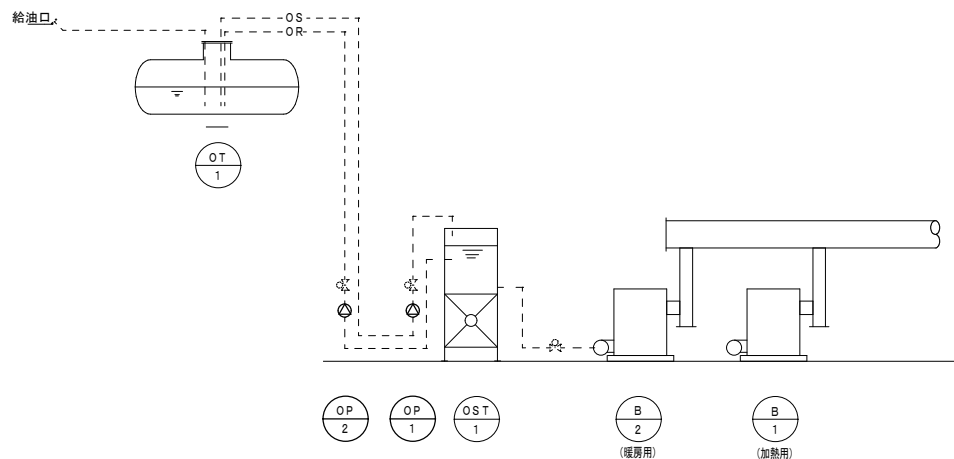
※本線は、撤去機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。



プール関係熱源系統図

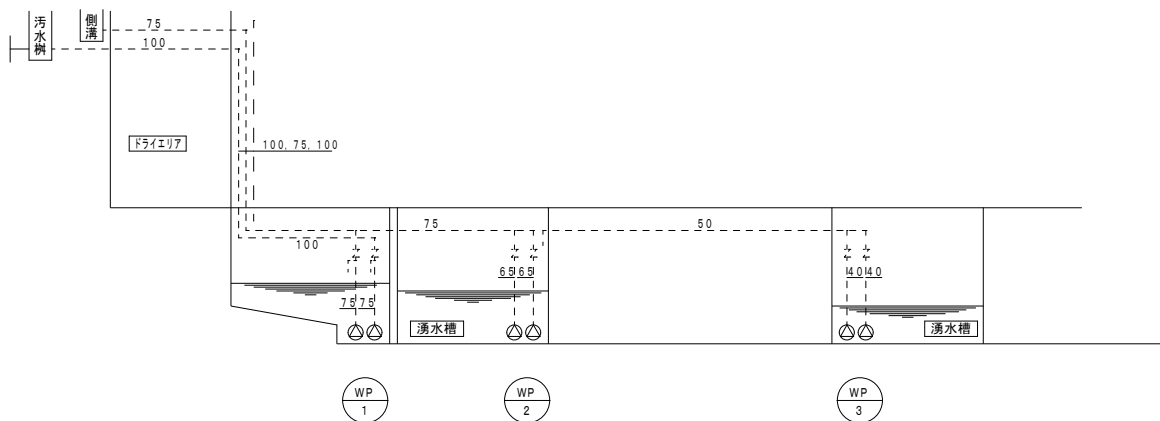
※本線は、撤去配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

NO	系統名	3方弁サイズ	Cv値	
1	温水プール	125	280	
2	温泉プール（１）	50	32	
3	（２）	50	38	
4	ジャグジー槽	40	19	
5	貯泉ポンプ	50	46	



オイル配管系統図

※本線は、撤去機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

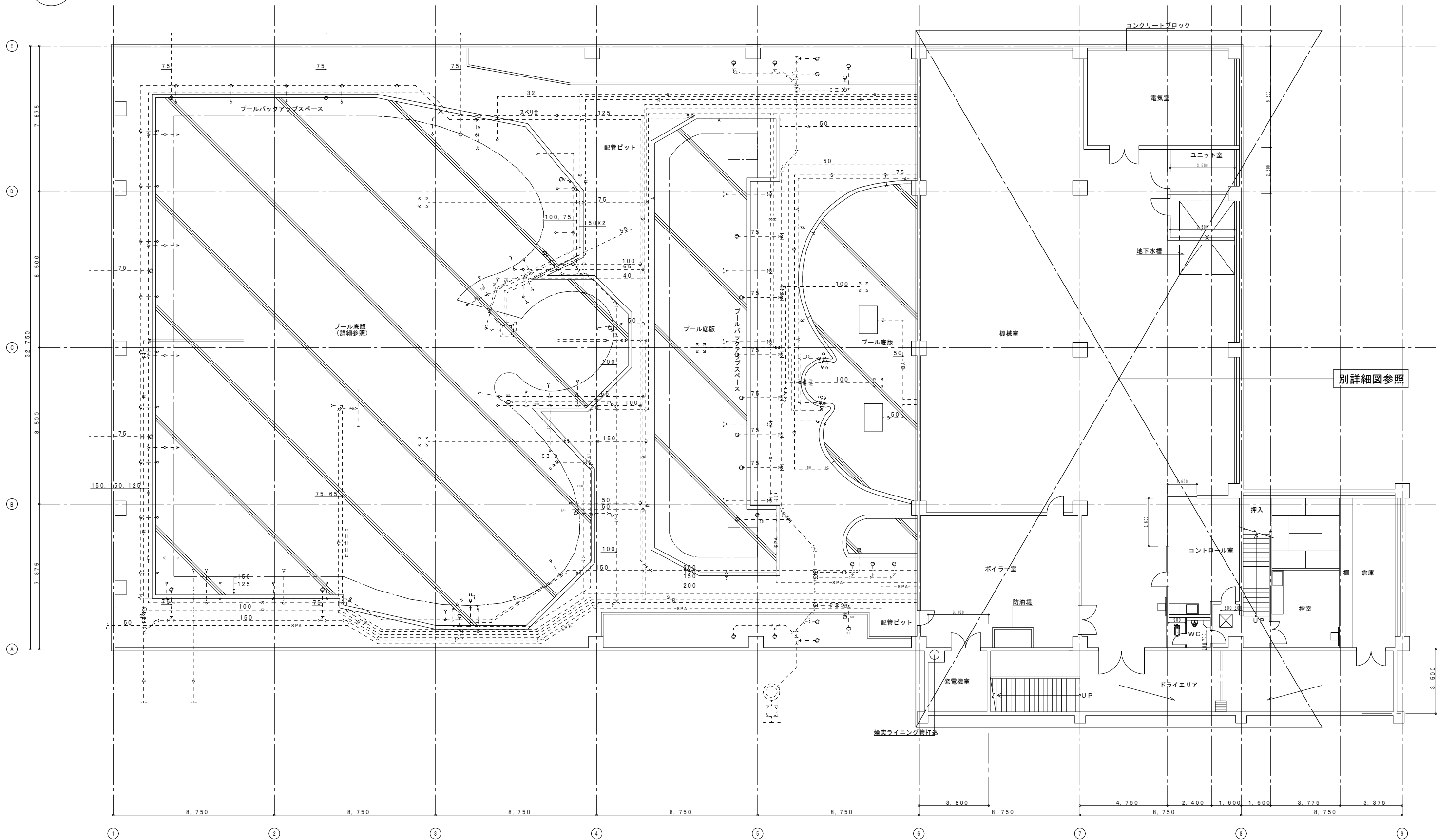
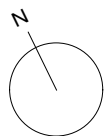


排水系統図

※本線は、撤去配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

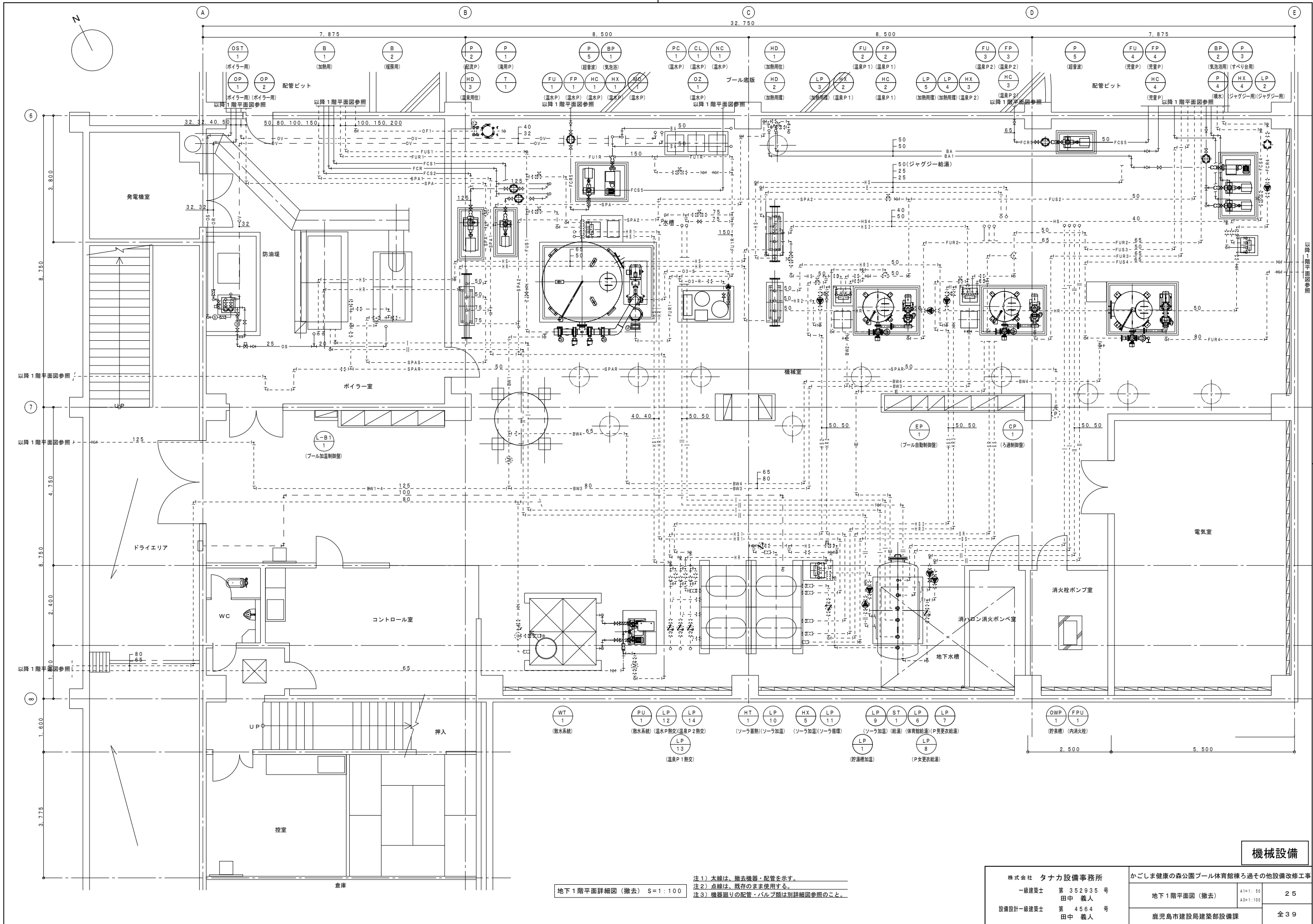
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所 一級建築士 第 352935 号 田中 義人 設備設計一級建築士 第 4564 号 田中 義人	かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
	配管系統図（２）（撤去）	A1= - A3= - 22
	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39



地下1階平面図（撤去） S=1:200

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図（撤去）	A1=1:100 A3=1:200
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	23
	田中 義人		全 39

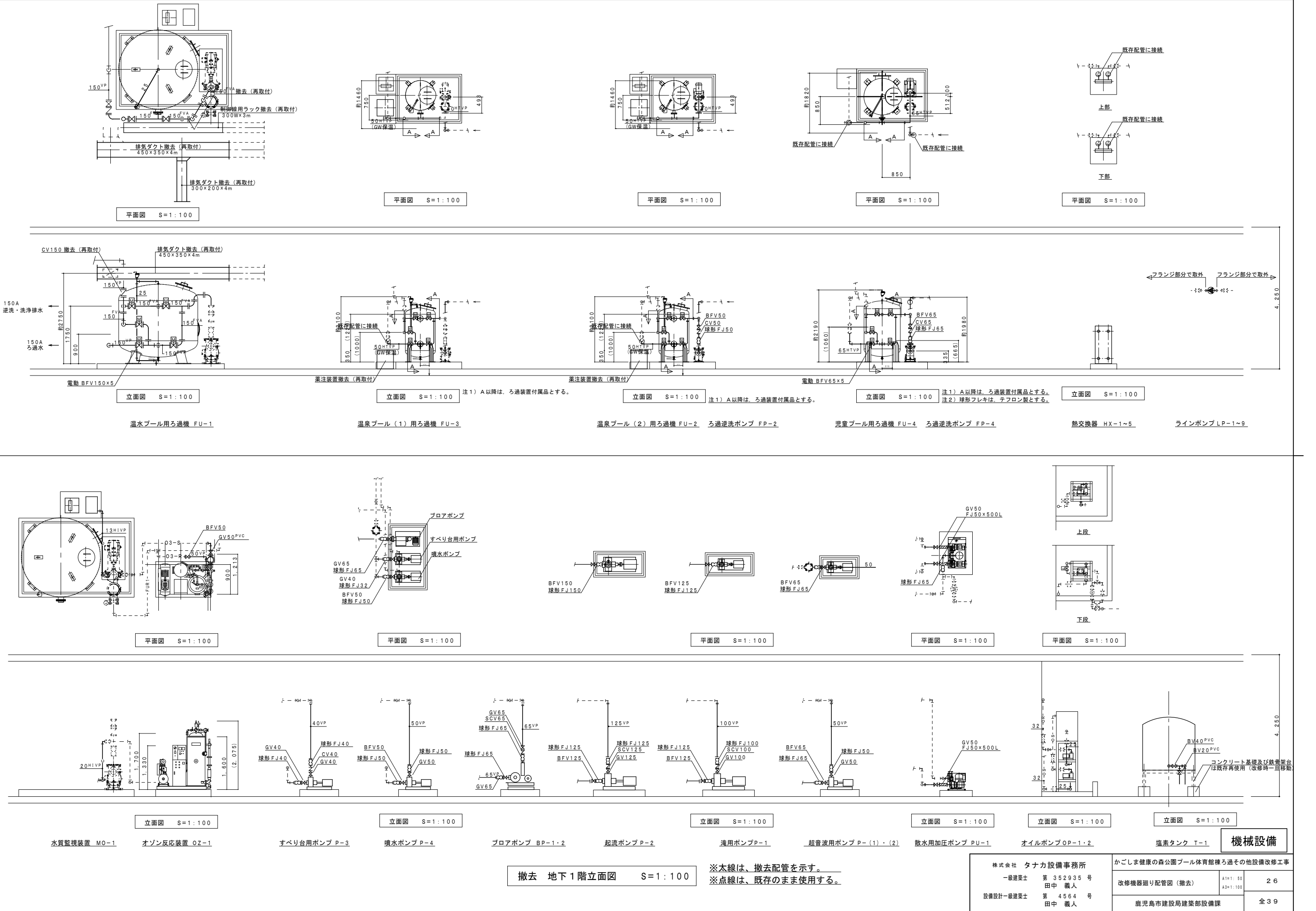


機械設備

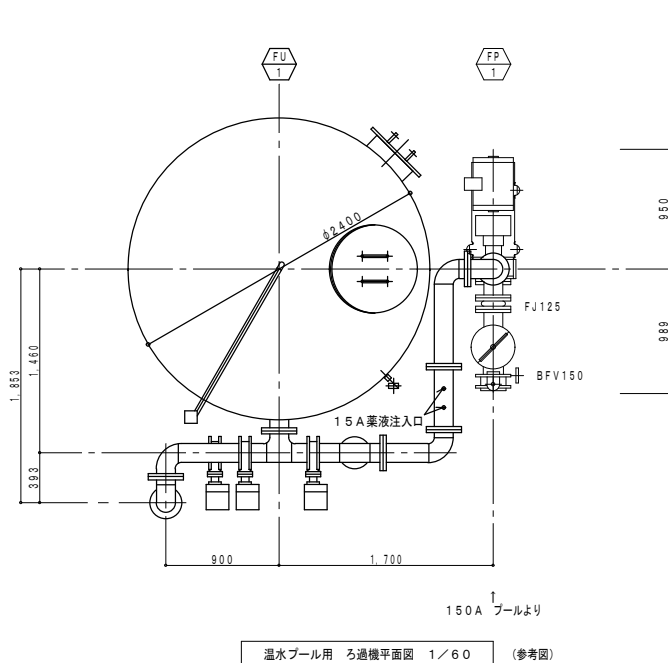
株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図 (撤去)	A1=1:50 A2=1:100 25
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全39
田中 義人			

注1) 本線は、撤去機器・配管を示す。
注2) 点線は、既存のまま使用する。
注3) 機器周りの配管・バルブ類は別詳細図参照のこと。

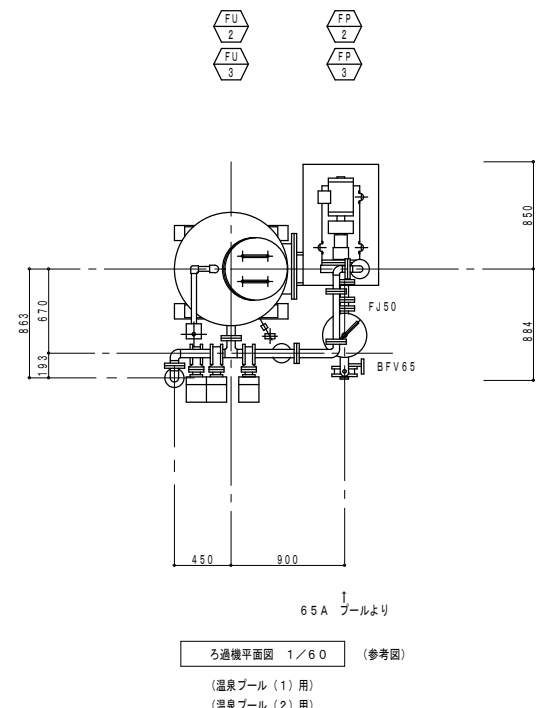
地下1階平面詳細図 (撤去) S=1:100



株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	改修機器廻り配管図 (撤去)	A1=1: 50 A2=1: 100 2 6
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全 3 9
田中 義人			

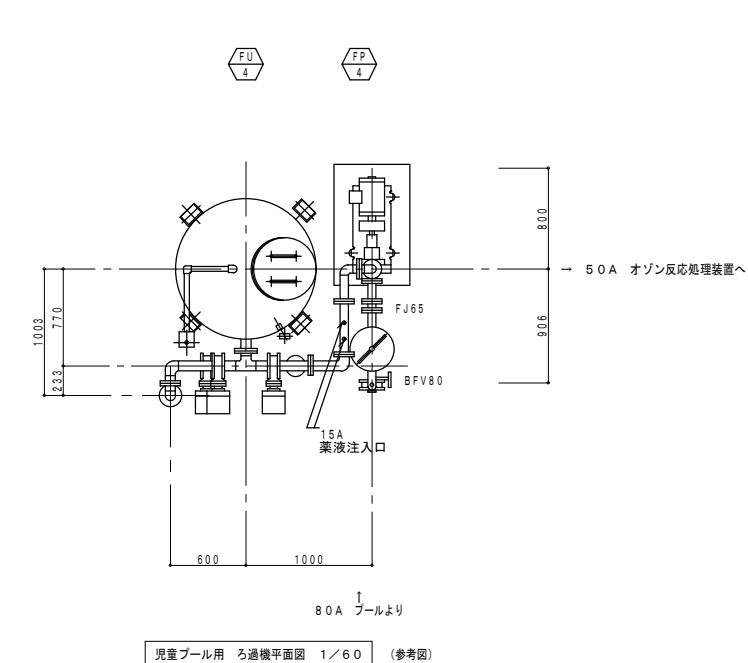


温水プール用 ろ過機平面図 1/60 (参考図)

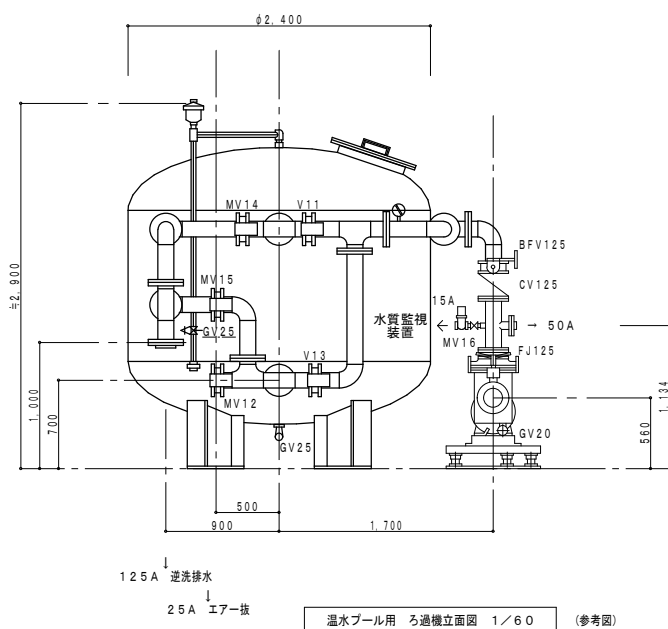


ろ過機平面図 1/60 (参考図)

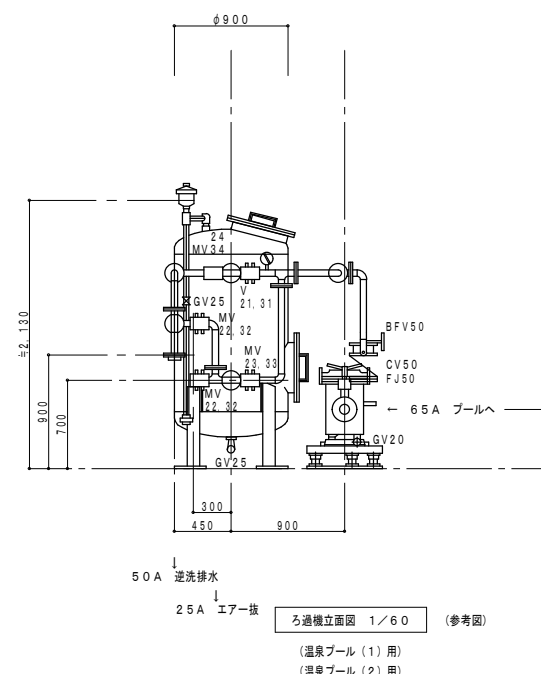
(温泉プール(1)用)
(温泉プール(2)用)



児童プール用 ろ過機平面図 1/60 (参考図)

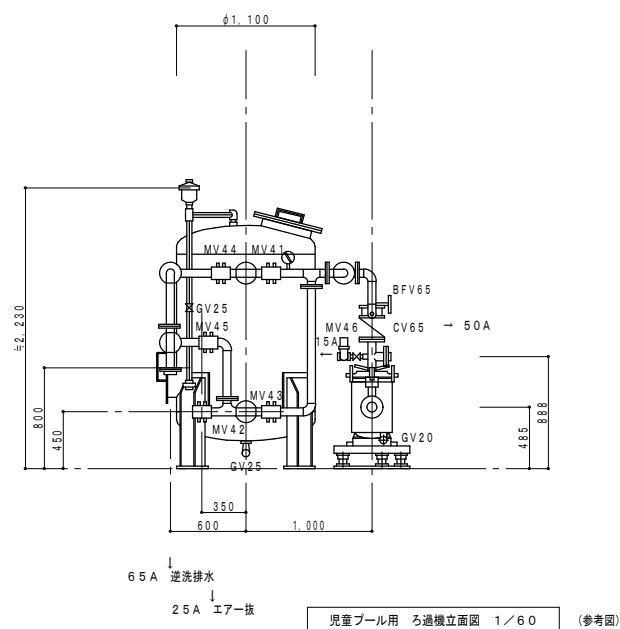


温水プール用 ろ過機立面図 1/60 (参考図)



ろ過機立面図 1/60 (参考図)

(温泉プール(1)用)
(温泉プール(2)用)



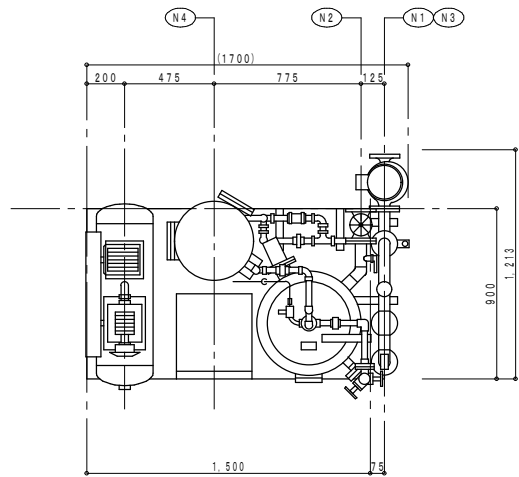
児童プール用 ろ過機立面図 1/60 (参考図)

用途	機器名称	記号	仕様	数量	基礎寸法	ろ過速度	内面仕上	ろ過精度
温水プール用	ろ過機	FU1	全自動砂ろ過機 能力 130m3/h	1	3500×2400×H150 配筋	30m/h以下	垂鉛溶射	0.007m/m以下
	ろ過逆洗ポンプ	FP1	片吸込うず巻きポンプ(自吸式) モートル 防滴形 防振架台付	1	D13@200タテ、ヨコ			
温泉プール(2)用	ろ過機	FU2	全自動砂ろ過機 能力 18m3/h	1	2000×1500×H150 配筋			
	ろ過逆洗ポンプ	FP2	片吸込うず巻きポンプ(ステンレス製) モートル 防滴形 防振架台付	1	D13@200タテ、ヨコ			
温泉プール(1)用	ろ過機	FU3	全自動砂ろ過機 能力 15m3/h	1	2000×1500×H150 配筋			
	ろ過逆洗ポンプ	FP3	片吸込うず巻きポンプ(ステンレス製) モートル 防滴形 防振架台付	1	D13@200タテ、ヨコ			
児童プール用	ろ過機	FU4	全自動砂ろ過機 能力 24m3/h	1	2200×1600×H150 配筋			
	ろ過逆洗ポンプ	FP4	片吸込うず巻きポンプ モートル 防滴形 防振架台付	1	D13@200タテ、ヨコ			

※太線は、撤去機器を示す。
※細線は、既存のまま使用する。

機械設備

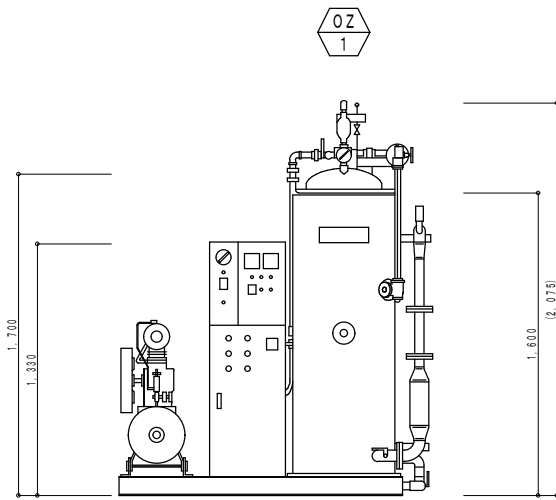
株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機仕様・姿図(撤去)	A1=1:30 A3=1:60 27
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全39
田中 義人			



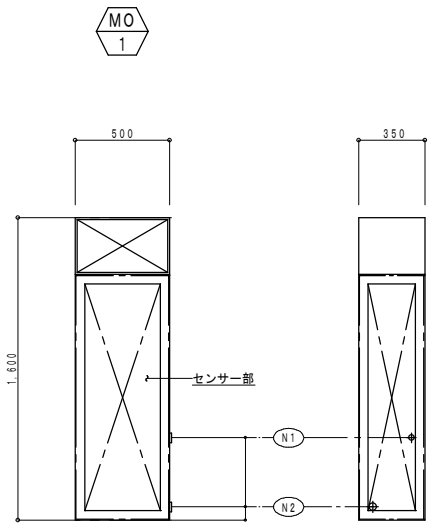
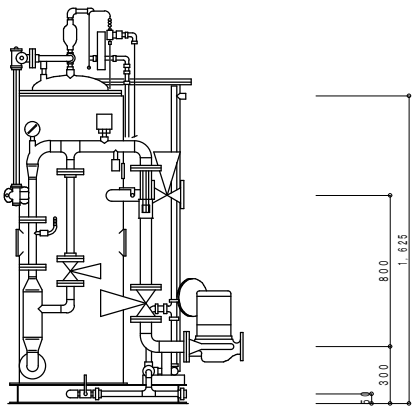
平面図 1/40 (参考図)

オゾン反応処理装置 接続口仕様			
記号	名称	温水プール用	
N-1	プール水入口	50A×JIS10K 片フランジ	
N-2	プール水出口	50A×JIS10K 片フランジ	
N-3	排水口	25A	ユニオン
N-4	排気口	25A	ソケット

温水プール用				
機器名称	記号	仕様	数量	基礎寸法
水質監視装置	MO 1	残留塩素、PH、導電率	1	500×350×H100
		水温のモニター表示および記録		
オゾン反応処理装置	OZ 1	無声放電方式 ユニット型	1	1700×1100×H150 配筋 D13@200タテヨコ



温水プール用 オゾン反応処理装置立面図 1/40 (参考図)

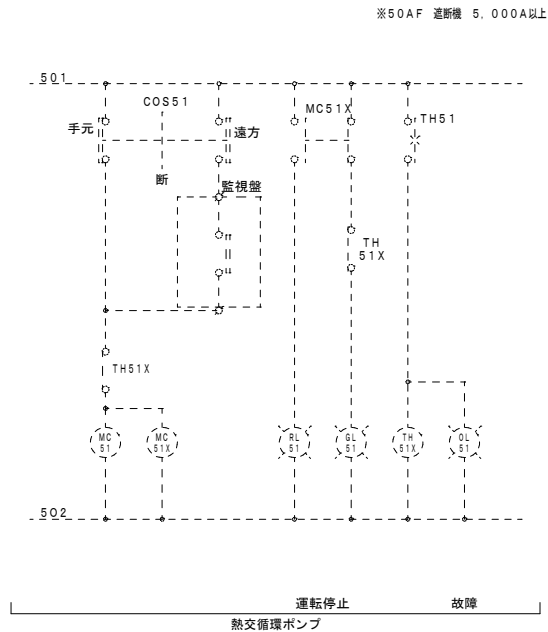
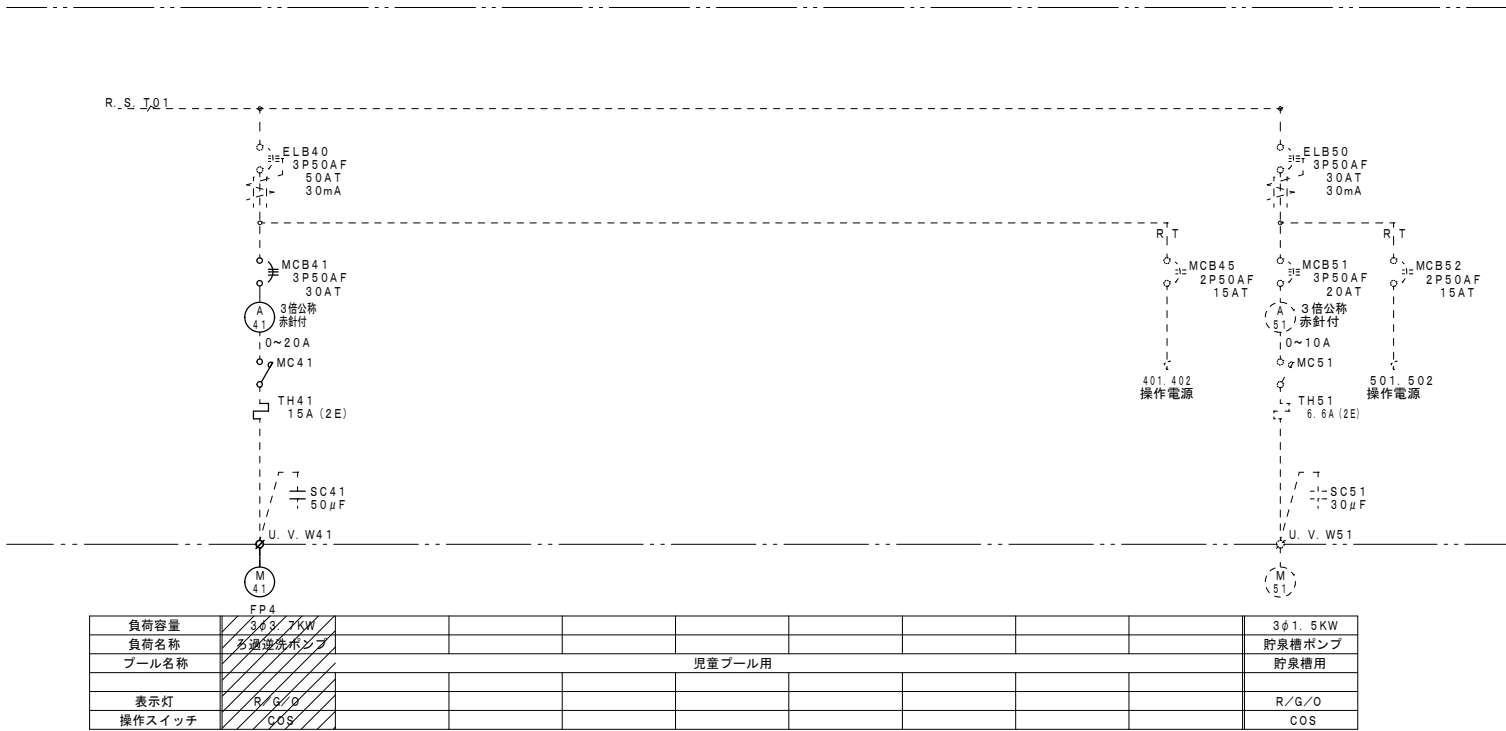
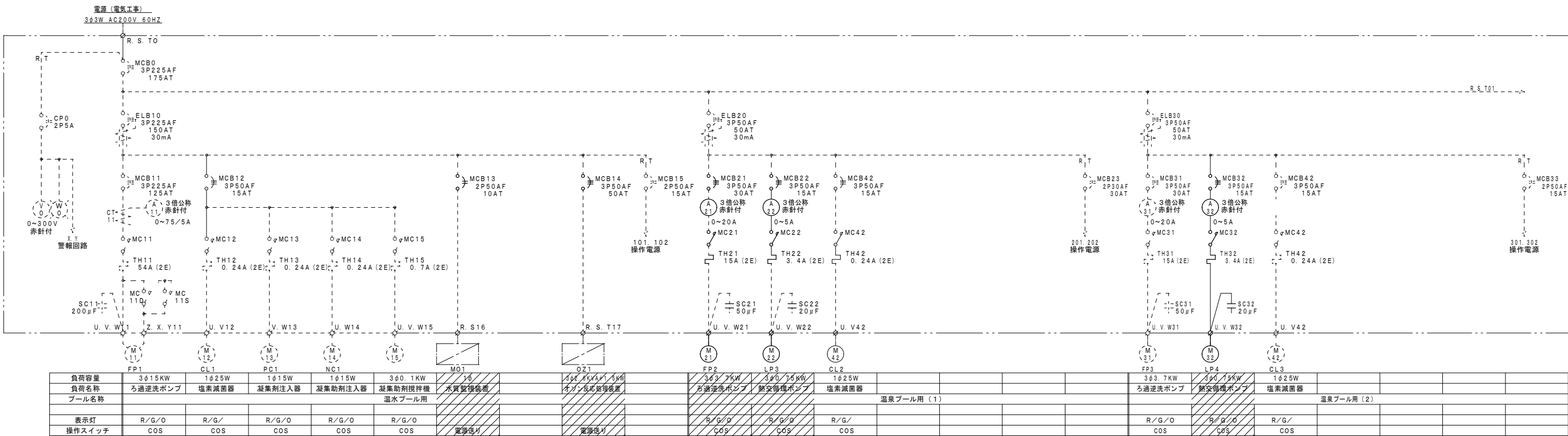


水質監視装置立面図 1/40 (参考図)

水質監視装置 接続口仕様		
記号	名称	仕様
N-1	サンプル水入口	15A ソケット
N-2	排水口	25A ソケット

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事		
一級建築士	第 352935 号	オゾン反応処理装置・水質監視装置 姿図（撤去）	A1=1:20 A3=1:40	28
設備設計一級建築士	第 4564 号			
	田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課		全 39
	田中 義人			

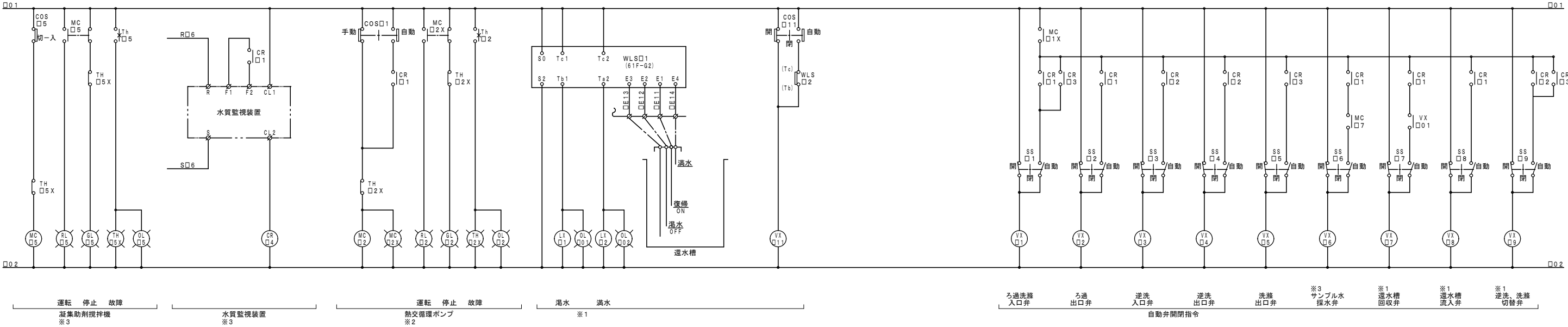
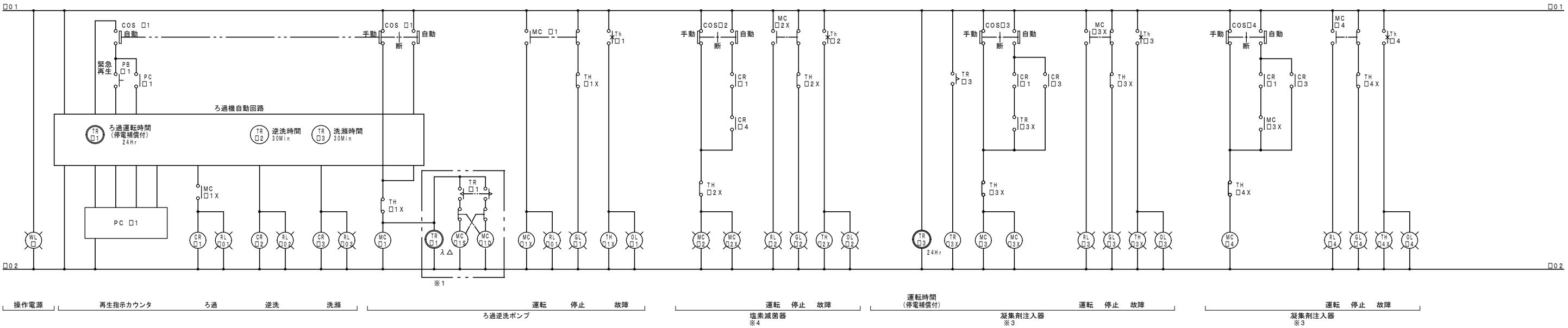


ろ過制御盤図 No Scale

※太線は、撤去箇所を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機盤図 (1) (撤去)	A1= - A3= - 29
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39
田中 義人			



注記

1. 図中、□内数字は下記による。

線番	及	器具記号
名称		プール名称
1		温水プール
2		温水プール (2)
3		温水プール (1)
4		児童プール

2. 図中※1印は、温水プールのみに設ける。

3. 図中※2印は、温水プール (1) と温水プール (2) のみに設ける。

4. 図中※3印は、温水プールのみに設ける。

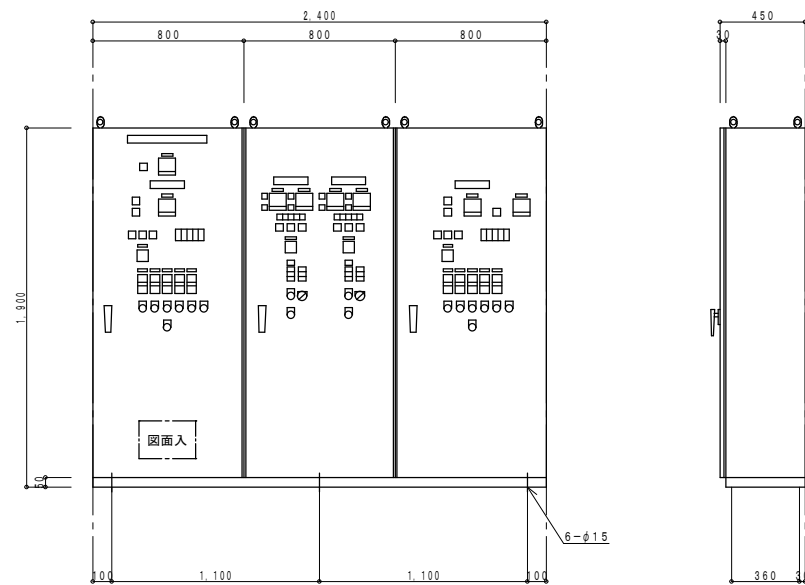
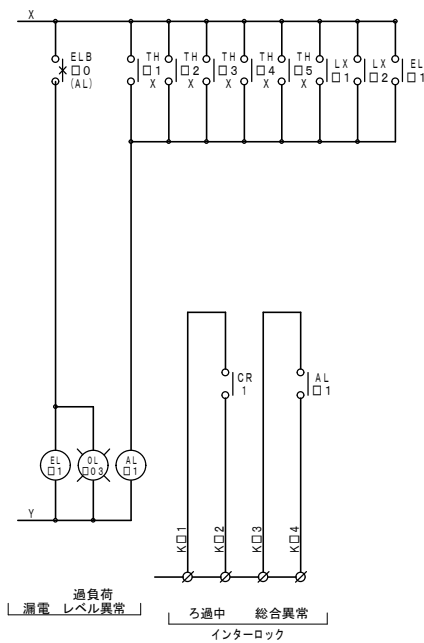
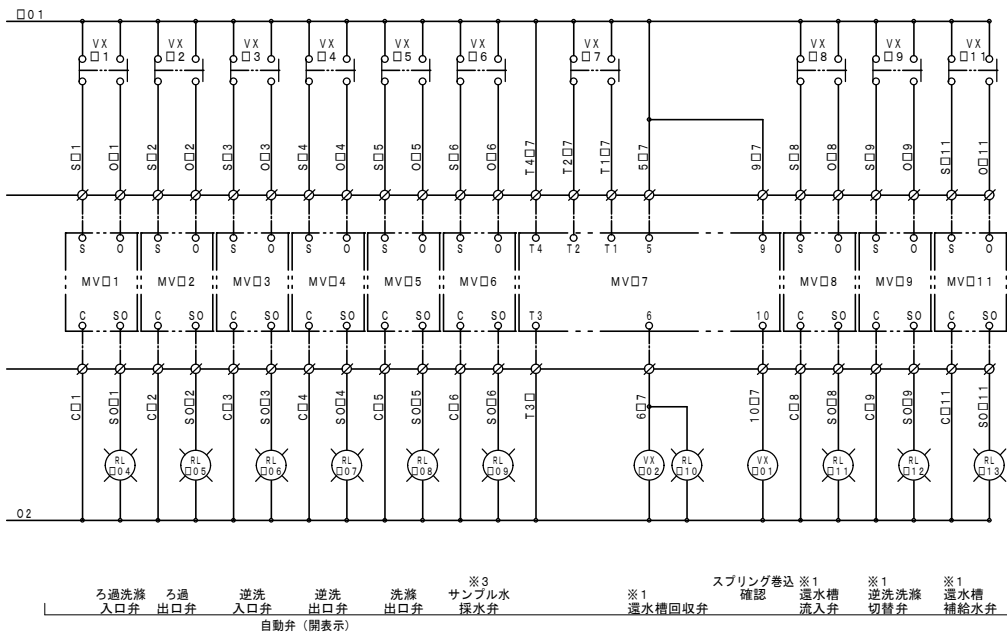
5. 図中※4印は、温水プール、児童プールに設ける。

4. SS□1～SS□9は壁内取。

参考図面

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機盤図 (2) (撤去)	30
	田中 義人		
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全 39
	田中 義人		



ろ過機制御盤前面図 1/20

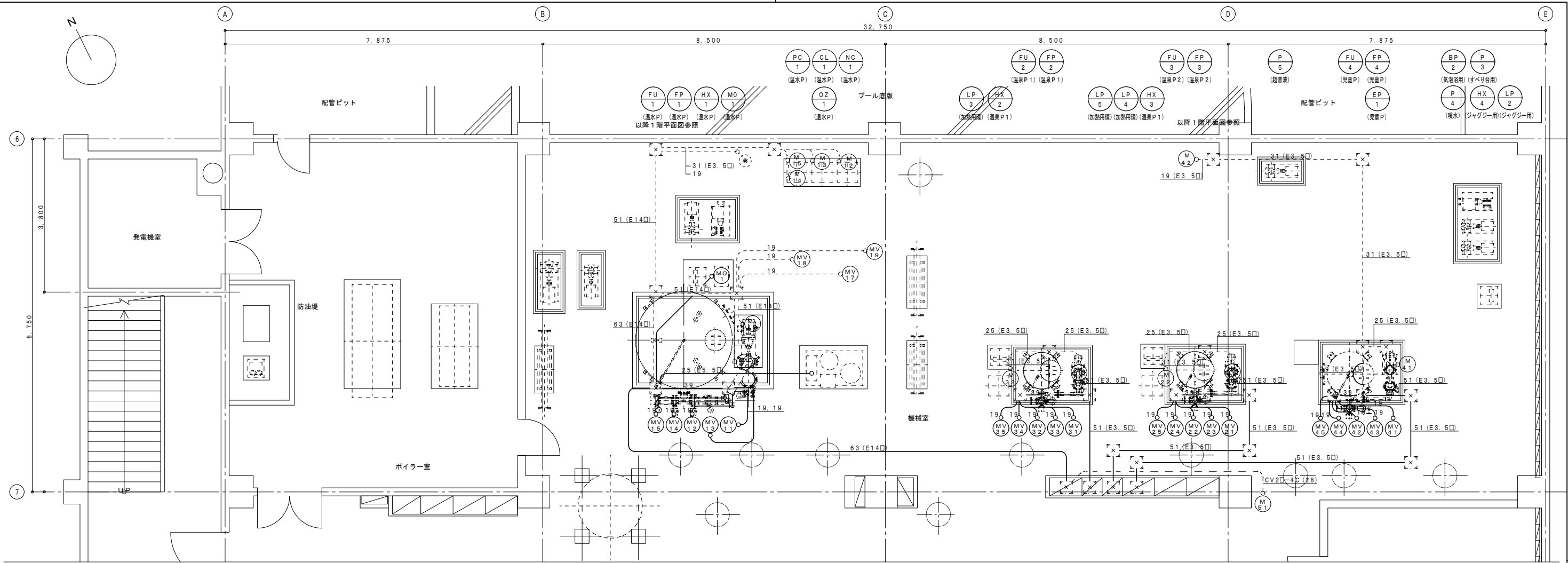
注記

- 構造 鋼板製屋内自立形
本体、中板、SPC2.3t、厚3.2t
- 塗装 メラミン樹脂塗料 日本塗料工業会 昭和64年度版
外面、内面共に P22-309 (マンセル2.5Y 9/1)
- 銘板 材質はアクリル製、白地黒文字丸ゴシック体 裏彫り。
- 接地端子 ターミナルを下側に設ける。
- 予備品 ヒューズは実装数の20%具備。
- 表示灯はLEDとする。

参考図面

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	ろ過機盤図 (3) (撤去)	A1=1:20 A3=1:40
設備設計一級建築士	第 4564 号		3 1
田中 義人		鹿児島市建設局建築部設備課	
田中 義人		全 39	



プ ール 名 称	温 水 プ ール				
	記 号	相	電 圧	負 荷 容 量	電 線
ろ過逆洗ポンプ	M11 (FU-1)	3	200	15 kw	22□ 6
塩素減菌器					
凝集剤注入器					
凝集助剤注入器					
凝集助剤攪拌機					
水質監視装置	MO1	3	200		2□ 6
オゾン反応処理装置	OZ1	3	"	5.5□	3
ろ過洗浄入口弁	MV11	3	"	1.25□	4
ろ過出口弁	MV12	3	"	1.25□	4
逆洗入口弁	MV13	3	"	1.25□	4
逆洗出口弁	MV14	3	"	1.25□	4
洗浄出口弁	MV15	3	"	1.25□	4
サンブル水採水弁	MV16	3	200	1.25□	4
還水槽回収弁	MV17	3	"	1.25□	8
還水槽流入弁	MV18	3	"	1.25□	4
逆洗洗浄切替弁	MV19	3	"	1.25□	4
還水槽補給水弁	MV111	3	"	1.25□	4
温水槽水位計	WLS11			1.25□	4
"	WLS12			1.25□	3

プ ール 名 称	温 泉 プ ール (2)					温 泉 プ ール (2)					児 童 プ ール (屋 外)				
	記 号	相	電 圧	負 荷 容 量	電 線	記 号	相	電 圧	負 荷 容 量	電 線	記 号	相	電 圧	負 荷 容 量	電 線
ろ過逆洗ポンプ	M21 (FU-3)	3	200	3.7 kw	3.5□ 3	M31 (FU-2)	3	200	3.7 kw	3.5□ 3	M41 (FU-4)	3	200	3.7 kw	3.5□ 3
塩素減菌器											M42	1	"	15w	2□ 2
凝集剤注入器											M43	1	"	15w	2□ 2
凝集助剤注入器											M44	1	"	15w	2□ 2
凝集助剤攪拌機											M45	3	"	0.1 kw	2□ 3
水質監視装置															
オゾン反応処理装置															
ろ過洗浄入口弁	MV21	3	200	1.25□	4	MV31	3	200	1.25□	4	MV41	3	200	1.25□	4
ろ過出口弁	MV22	3	"	1.25□	4	MV32	"	"	1.25□	4	MV42	"	"	1.25□	4
逆洗入口弁	MV23	3	"	1.25□	4	MV33	"	"	1.25□	4					
逆洗出口弁	MV24	3	"	1.25□	4	MV34	"	"	1.25□	4					
洗浄出口弁	MV25	3	"	1.25□	4	MV35	"	"	1.25□	4					
サンブル水採水弁															
プール補給水弁											MV401	3	200	1.25□	4
プール水位計											WLS441	3	"	1.25□	3
熱交換循環ポンプ	M22	3	200	0.75 kw	2□ 3	M32		200	0.75 kw	2□ 3					

改修前 地下1階平面詳細図(2次側電気結線図) S=1:100

※本線は、撤去を示す。(機器電源の取外し)
※点線は、既存のまま使用する。

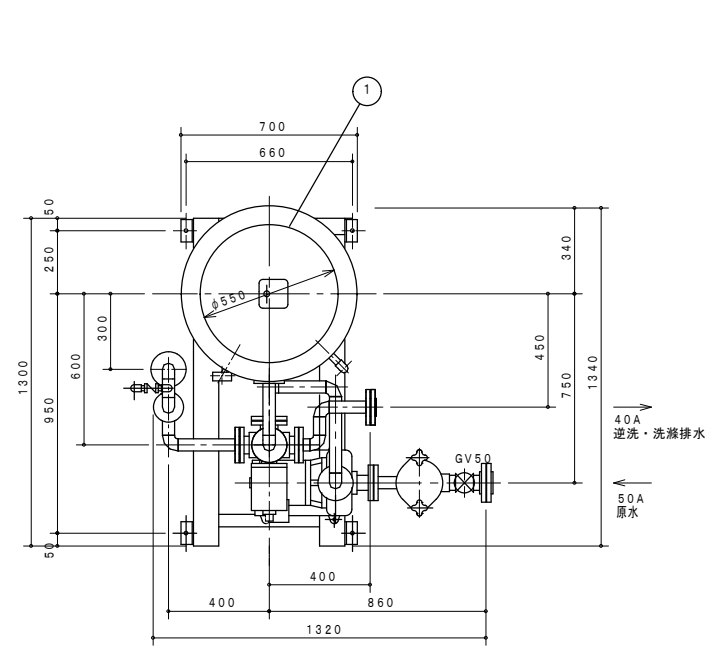
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	地下1階平面図(ろ過2次側配線) (撤去)	A1=1:50 A2=1:100 32
設備設計一級建築士	第 4564 号	鹿児島市建設局建築部設備課	全39
田中 義人			

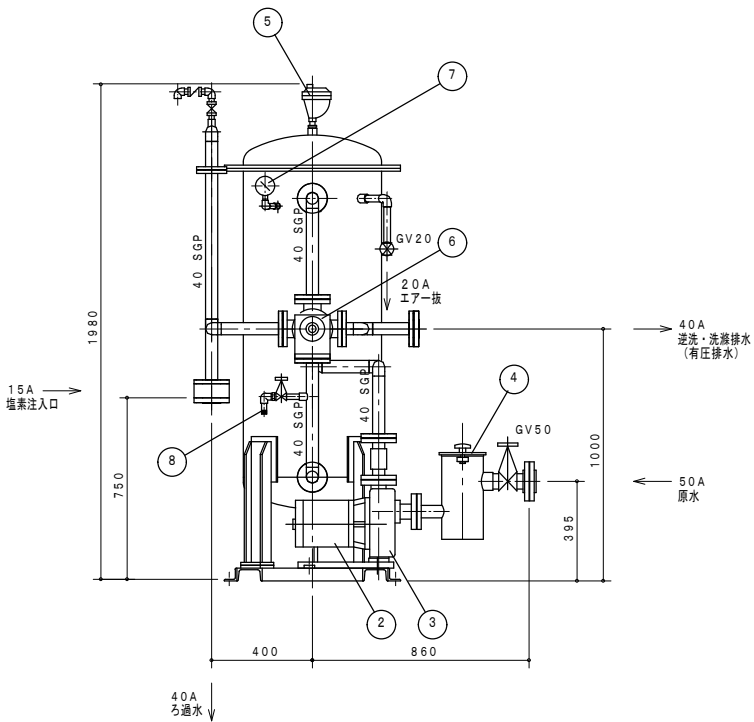
ろ過機器明細表				注記）既存のまま使用以外を更新とする。
ウォーター 슬라이ダー				
機器名称	記号	機器仕様	数量	
ろ過機	FJ 5	全自動砂ろ過機 能力10m ³ /hr 本体φ550× 胴長1225h×3.2t 本体・集毛器内面、垂鉛溶射 機内配管50A以上 ナイロンコーティング 鋼管（白色） 附属品 集毛器・自動弁（電動バタフライ弁）・圧力計・自動エア抜弁・他弁類等 ろ過逆洗ポンプ 40A×170L/min×23.5m	1	
排水ポンプ	WS A	(平成26年電動機以外を更新) 自吸式うず巻ポンプ φ150×φ150×1,600L/min×17.1m 電動機 防滴形 3φ200V4P×11KW 附属品：FJ（球形）、CV、GV共	2	
集毛器 (ウォーター 슬라이ダー用)	HC 5	口 径：150A 材 質：SUS304製	2	
塩素減菌器	CL 1	薬液定量ポンプ (既存のまま使用) 74cc/min×10kg/cm ² G×1φ200V×5W 薬液タンク 200L・PVC製	1	
ろ過機制御盤	EP 2	屋内自立型	1	

仕 様	
型 式	全自動式砂ろ過機 SRP-550-MT
能 力	10m ³ /hr
内面塗装	タールエポキシ樹脂塗料
外面塗装	亜酸化鉛とび止め塗料 仕上塗料
運転時総重量	約 970kg
空水時総重量	約 770kg

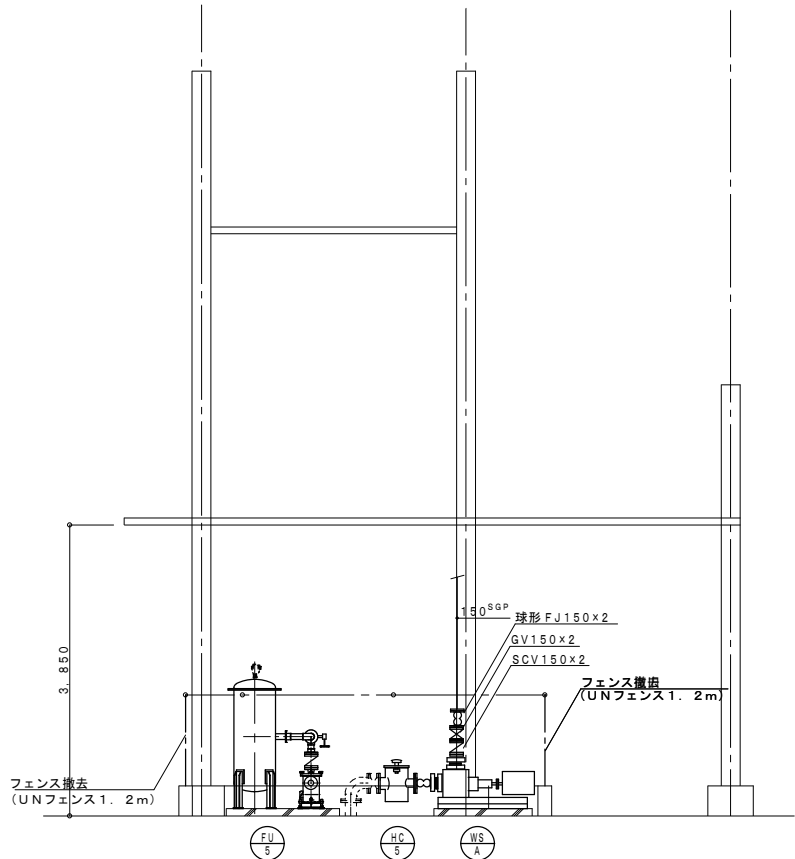
番号	名 称	材 質	仕 様	個数	備 考
1	ろ過機本体	SS400	φ550×胴長h-1225×t-3.2	1	
2	全閉外扇屋外形電動機		3φ 200V 2P 1.5kW	1	
3	ろ過逆洗ポンプ	FC	φ40×0.17m ³ /min×23.5m	1	
4	集毛器	SS400	φ165×h-330	1	
5	自動エア抜弁	FC	15A フロート式	1	
6	自動5方向切替弁	FC	40A×AC200V	1	
7	圧力計	BsBM	φ75×5kg/cm ²	1	
8	排水弁	黄銅	10A	1	



平面図 1/30

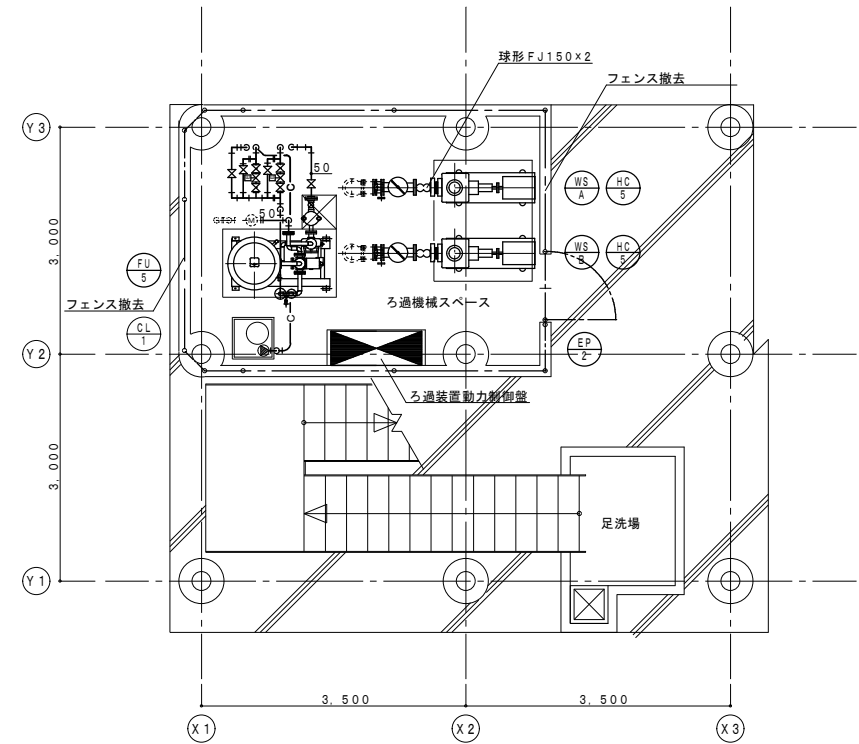


正面図 1/30



ウォーター 슬라이ダー機械置場断面詳細図（改修後）S=1:100

※太線は、撤去機器・配管を示す。
※点線は、既存のまま使用する。

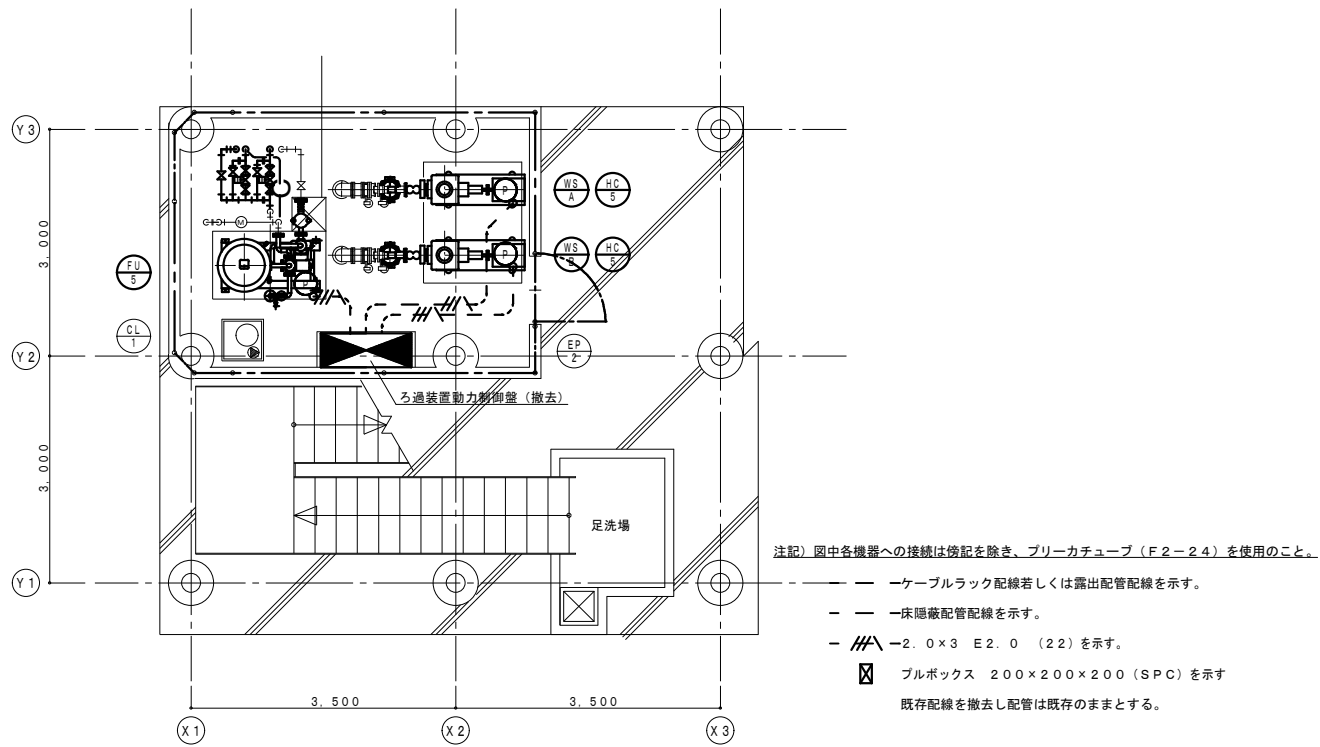


ウォーター 슬라이ダー機械置場平面詳細図（撤去） S=1:100

※太線は、撤去機器・配管を示す。
※細線は、既存のまま使用する。

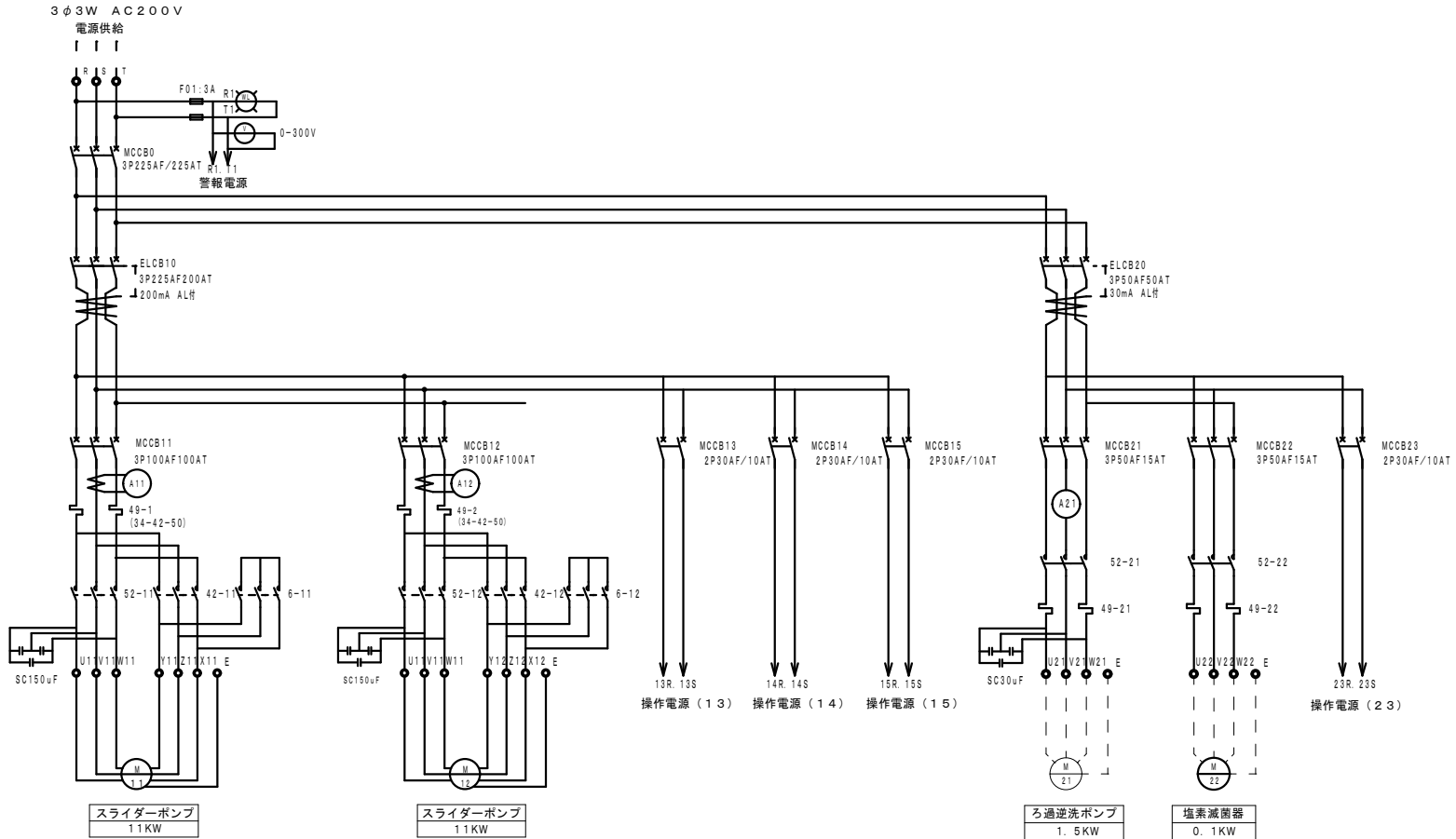
機械設備

株式会社 タナカ設備事務所	かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事		
一級建築士 第 352935 号	ウォーター 슬라이ダー詳細図（撤去）	A1=1:50	33
設備設計一級建築士 第 4564 号		A3=1:100	
田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課		全 39



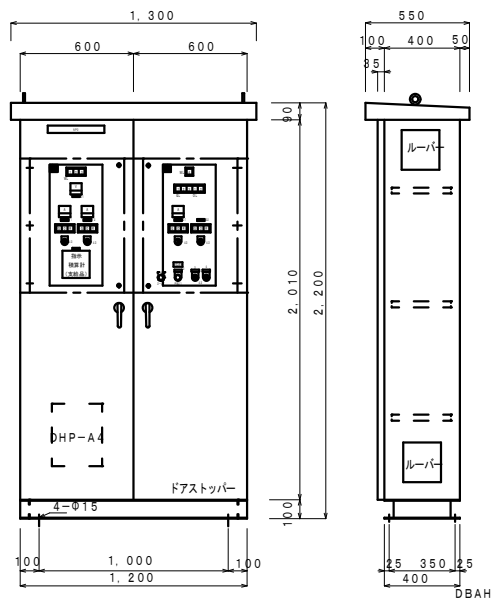
ウォーター 슬라이ダー機械置場平面詳細図 (撤去) S=1:100

※太線は、撤去機器・配管を示す。
※細線は、既存のまま使用する。



動力盤結線図 (撤去) P-B1-1

※太線は、撤去機器類を示す。
※細線は、既存のまま使用する。



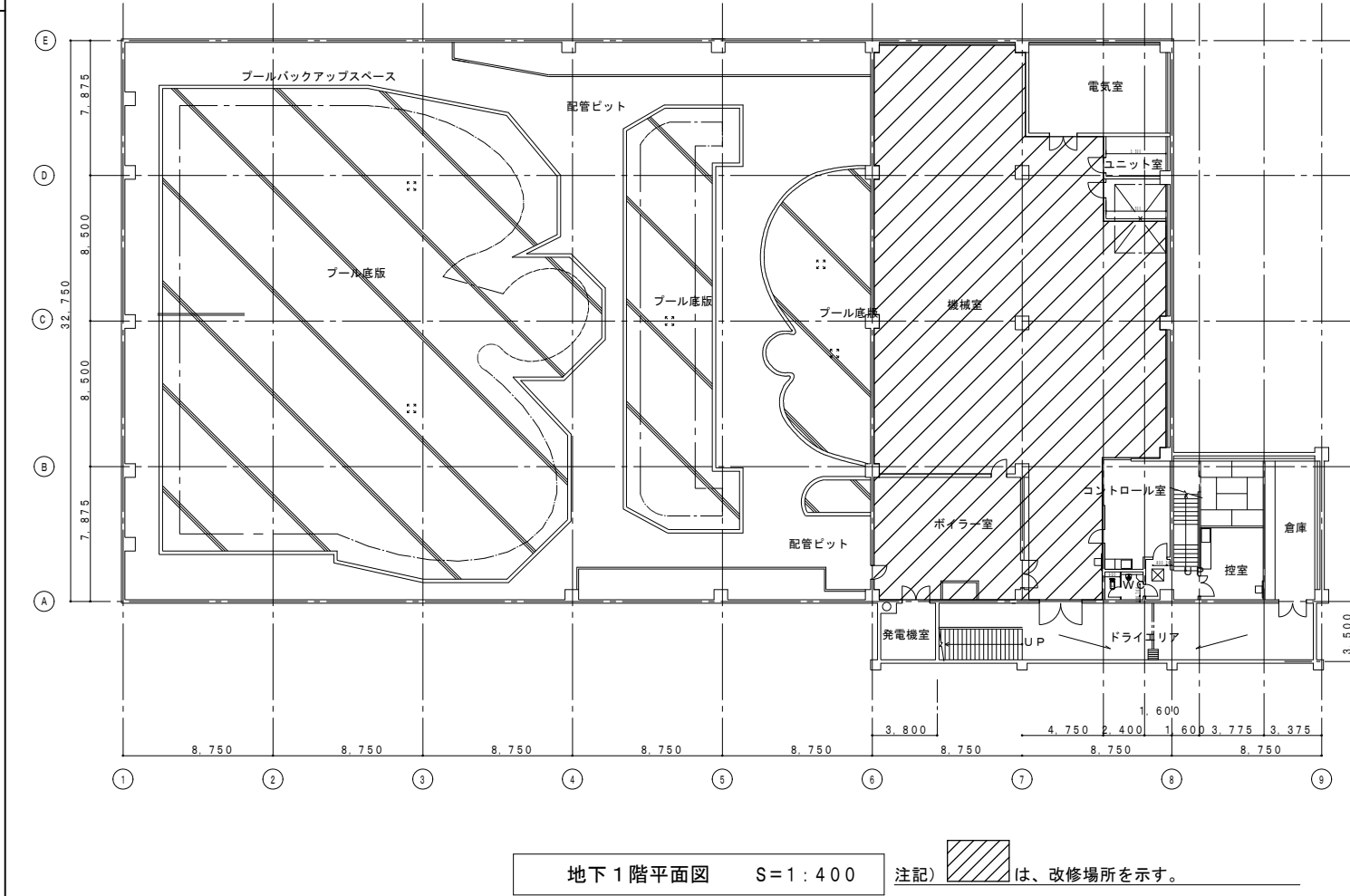
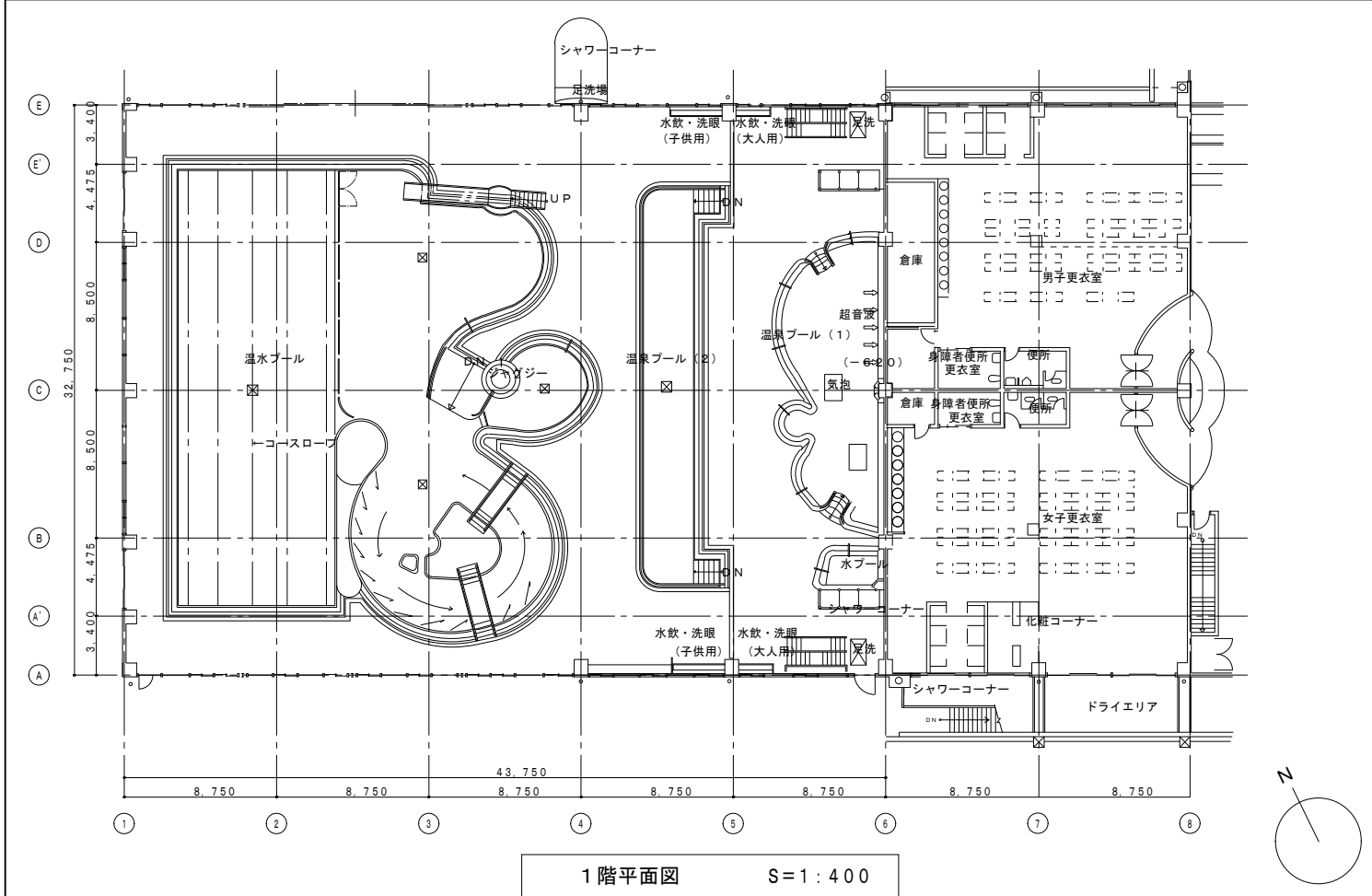
制御盤外形図 (撤去) S=1:20

NO	文 字	備 考
NP0	スライダールール制御盤	
11	NO. 1 スライダーポンプ	
12	NO. 2 スライダーポンプ	
21	ろ過逆洗ポンプ	
22	塩素減菌器	
01	主電圧計	
1	指示積算計	
2	再生指示	
3	NO. 1 電磁弁	
4	NO. 2 電磁弁	
WL1	電 源	
2	操作電源 (14)	
3	操作電源 (15)	
4	操作電源 (23)	
GL1	ろ過	
2	逆洗	
3	洗浄	
OL1	スライダー漏電	
2	ろ過機 漏電	
PB21	再生	
3-LT	ランプテスト	

ステンレス製
チャンネルベース 100×50×t4
塗装色 外部 5Y7/1 内部 5Y7/1
使用鋼板 本体 2.0t 扉 2.0t
屋外防雨自立型

機械設備

株式会社 タナカ設備事務所	かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事		
一級建築士 第 352935 号	ウォーター 슬라이ダー詳細図 (撤去)	A1=1:50 A3=1:100	34
設備設計一級建築士 第 4564 号			
田中 義人	鹿児島市建設局建築部設備課		全 39



施工区分表

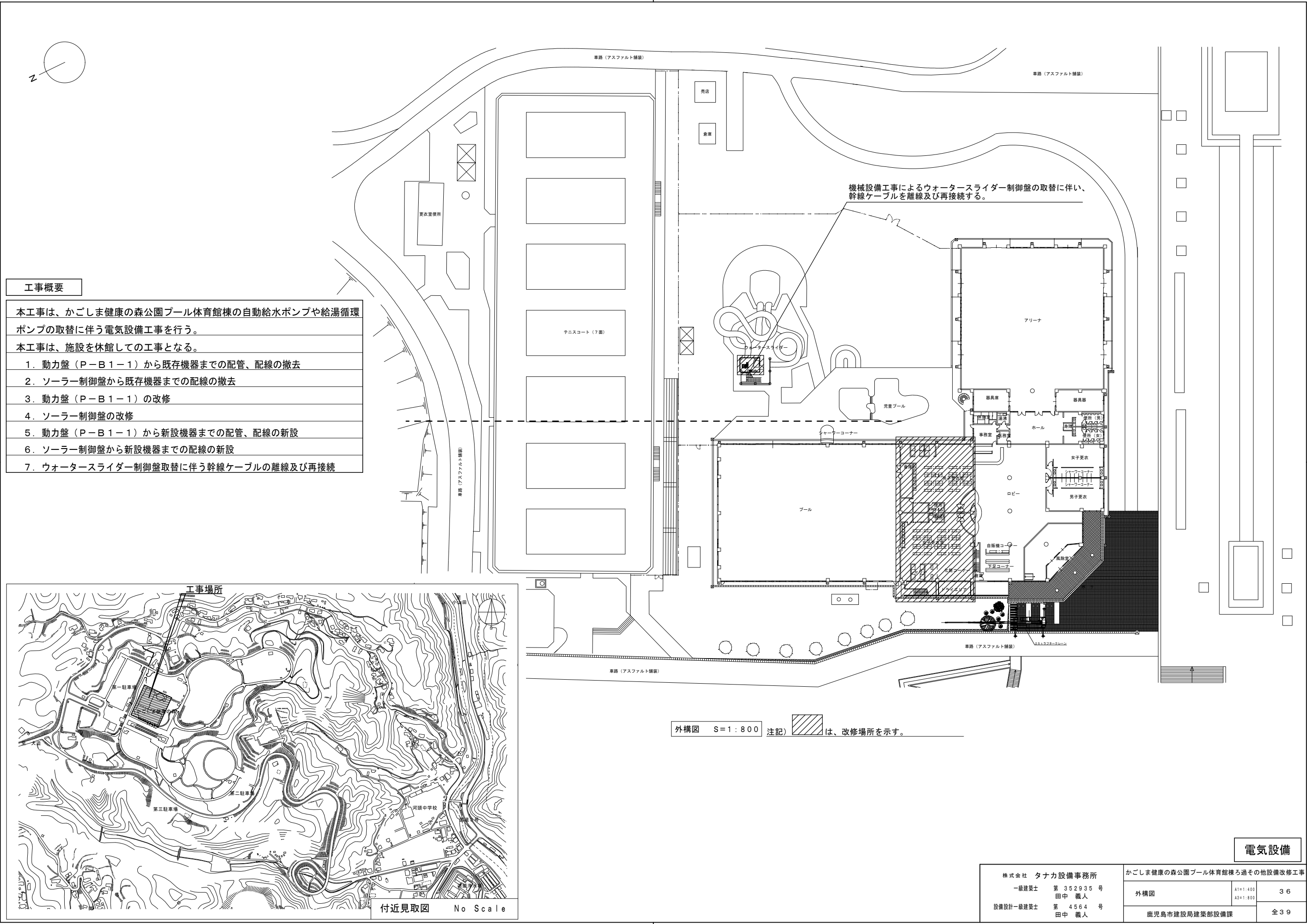
工 種	区 分	電気設備	機械設備	備 考
既存機器の配管配線撤去		○		
動力盤（P-B 1-1），ソーラー制御盤の内部改修		○		
新設機器の配管配線新設		○		
既存ラインポンプ，加圧給水ポンプの更新			○	
更新に伴うろか制御盤からの配線・配管改修，撤去			○	
更新に伴うろか制御盤の改修			○	
更新に伴うろか制御盤からの配線			○	配管は既存流用
既存ろ過器及びろ過制御盤の改修			○	

電気設備特記仕様書

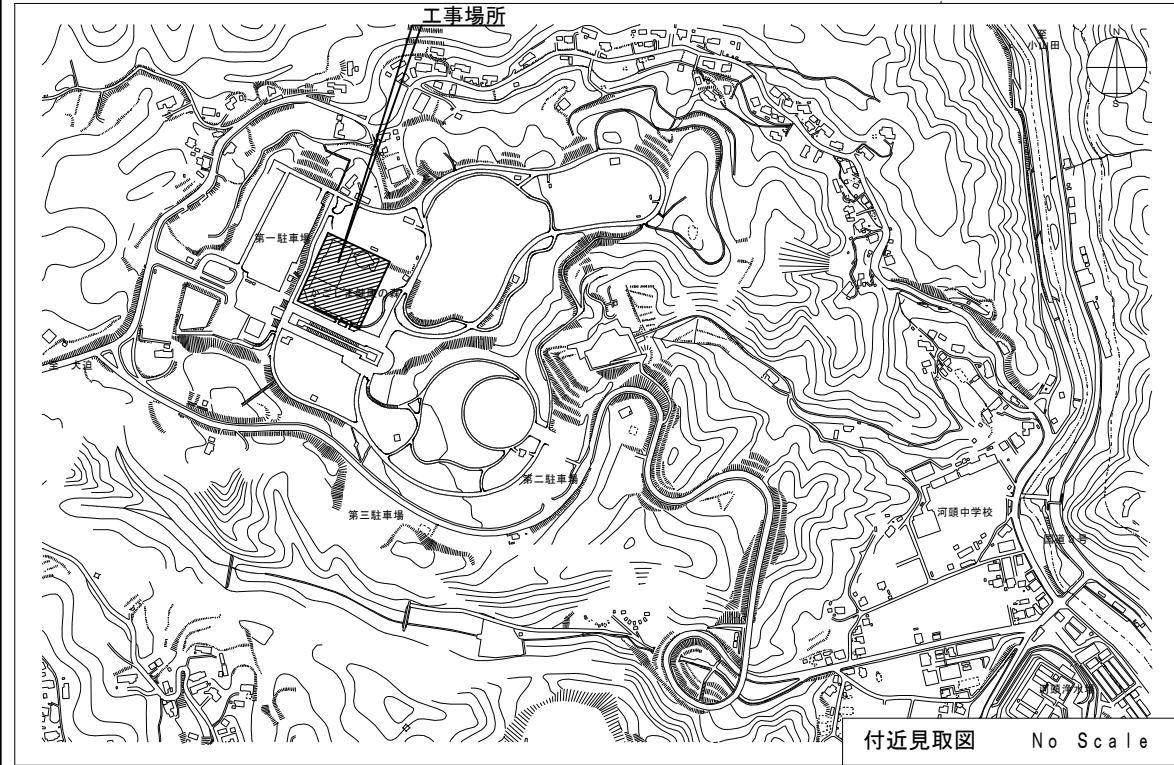
項 目	事 項
① 適用	（１）本特記仕様に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。 （２）すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難い場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。 ア 設計図書等に関する質疑応答書 イ 特記仕様書 ウ 図面 エ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和７年版 及び公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和７年版（改修及び修繕に限る）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和７年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
② 遵守事項	工事は、電気設備技術基準、内線規程、並びに小売電気事業者の規定に従い施工する。なお、図面その他が諸規定と相違するときは、監督員の指示による。
③ 特殊な材料工法	設計図書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は、監督員の承諾を得る。なお、特殊な材料による施工は、当該製品の指定工法による。
④ 電気工作物の種類	○事業用電気工作物 ・一般用電気工作物

電気設備

株式会社 タナ力設備事務所		かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事	
一級建築士	第 352935 号	電気設備特記仕様書	A1=1:200 3 5
設備設計一級建築士	第 4564 号	施工区分表 平面図	A3=1:400
田中 義人		鹿児島市建設局建築部設備課	
田中 義人		全 3 9	

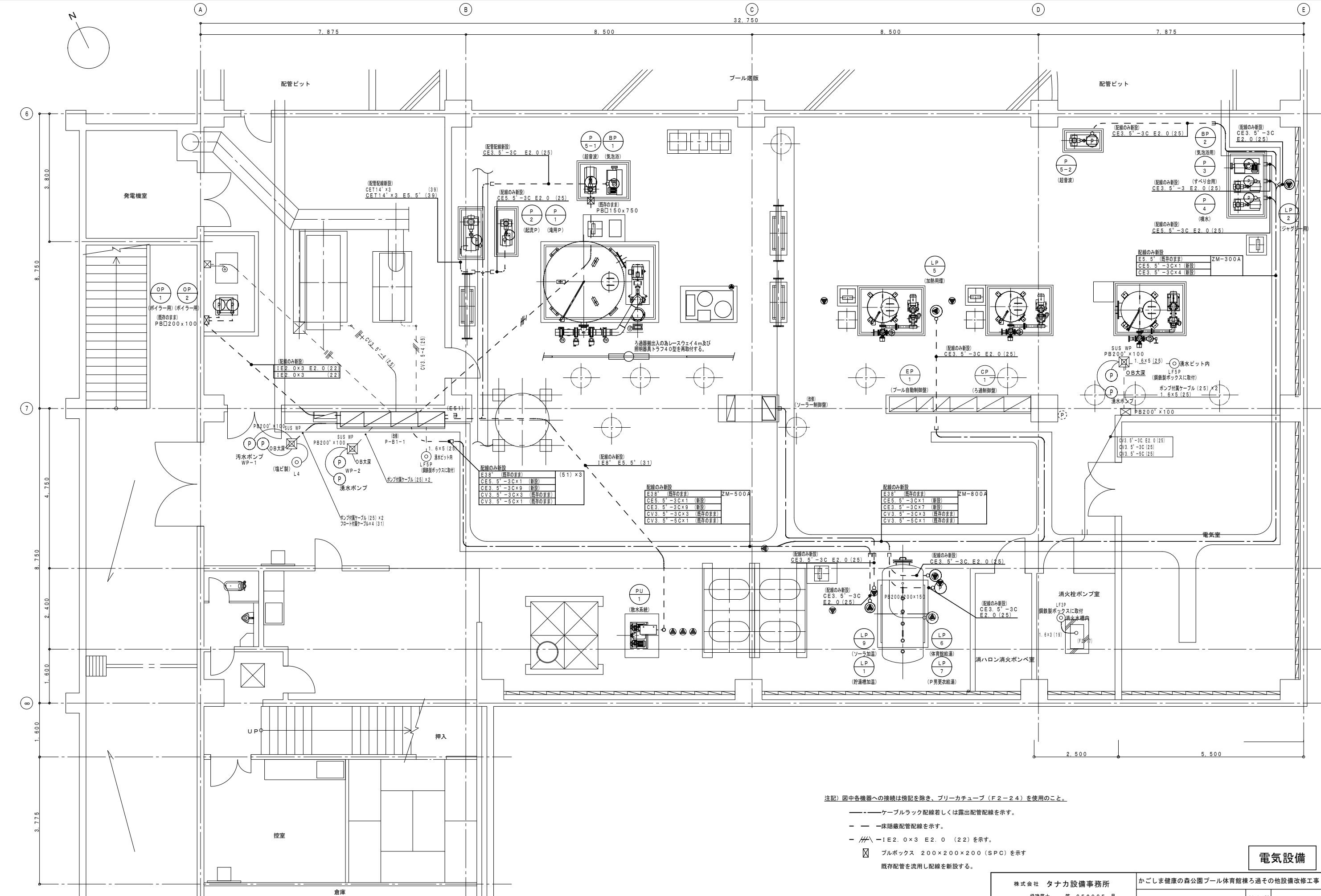


工事概要
本工事は、かごしま健康の森公園プール体育館棟の自動給水ポンプや給湯循環ポンプの取替に伴う電気設備工事を行う。
本工事は、施設を休館しての工事となる。
1. 動力盤（P-B1-1）から既存機器までの配管、配線の撤去
2. ソーラー制御盤から既存機器までの配線の撤去
3. 動力盤（P-B1-1）の改修
4. ソーラー制御盤の改修
5. 動力盤（P-B1-1）から新設機器までの配管、配線の新設
6. ソーラー制御盤から新設機器までの配線の新設
7. ウォータースライダー制御盤取替に伴う幹線ケーブルの離線及び再接続



外構図 S=1:800 注記)  は、改修場所を示す。

電気設備			
株式会社 タナカ設備事務所			
一級建築士 第 352935 号			
田中 義人			
設備設計一級建築士 第 4564 号			
田中 義人			
かごしま健康の森公園プール体育館棟ろ過その他設備改修工事			
外構図	A1=1:400 A3=1:800	36	
鹿児島市建設局建築部設備課		全39	



地下1階平面図 (改修後) S=1:100 ※太線は、改修配線を示す。
※細線は、既存のまま使用する。

